

LCD Data Projector

取扱説明書

JP

XXXXXXXXXX

CS

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い
かたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全に
お使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず
保管してください。

VPL-PX21
VPL-PX31

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5 (JP) ~ 8 (JP) ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続コードを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



指挟み



破裂

行為を禁止する記号



接触禁止



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ



指示

目次

⚠ 警告	5 (JP)
⚠ 注意	6 (JP)
電池についての安全上のご注意	7 (JP)
ランプについての安全上のご注意	8 (JP)

概要

本機の特長	9 (JP)
各部の名称と働き	10 (JP)
前面 / 左側面	10 (JP)
後面 / 右側面 / 底面	10 (JP)
コントロールパネル	12 (JP)
コネクタパネル	13 (JP)
リモートコマンダー	15 (JP)

設置 / 接続と投影

設置する	16 (JP)
接続する	17 (JP)
コンピューターを接続する	17 (JP)
ビデオ機器 / 15k RGB / コンポーネント機器を接続する	20 (JP)
メニュー表示言語を切り換える	21 (JP)
スクリーンに画像を映す	21 (JP)
プレゼンテーションに便利な機能	23 (JP)

メニューで行う調整と設定

メニューの操作方法	24 (JP)
画質調整メニュー	24 (JP)
信号設定メニュー	26 (JP)
初期設定メニュー	28 (JP)
設置設定メニュー	29 (JP)

設置

設置例	30 (JP)
床置き	30 (JP)
天井つり	31 (JP)
設置時のご注意	32 (JP)
設置に適さない場所	32 (JP)
使用に適さない状態	32 (JP)

保守・点検

メンテナンス	33 (JP)
ランプを交換する	33 (JP)
エアフィルターが汚れてきたら	34 (JP)
トラブル時の対処	35 (JP)

その他

本機の性能を保持するために	37 (JP)
保証書とアフターサービス	37 (JP)
仕様	38 (JP)
索引	44 (JP)



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

内部を開けない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

天井への取り付けは絶対に自分でやらない



禁止

天井への取り付けは必ずお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください（有料）。天井の強度不足、取り付け方法が不十分のときは落下する危険があります。

必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は取り付けを安全に行うために、必ず本書、特約店様用設置説明書およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

レンズをのぞかない



禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

排気口、吸気口をふさがない



禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 30cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ 横倒しにしない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない



禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

床置き、または指定された天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない



禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えます。
ことがあります。

運搬するときは必ずハンドルを持つ



禁止

- ・運搬するときは、必ずハンドルを持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落としてけがをすることがあります。
- ・床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようご注意ください。

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

本機は日本国内用です



指示

交流 100V でお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない



水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない



禁止

火災や感電の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う



注意

取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

電源コード / 接続ケーブルに足を引っかけない



注意

電源コードや接続ケーブルに足を引っかけると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

アジャスター調整時に指を挟まない



指挟み

アジャスターの調整は慎重に行ってください。そうしないと、アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

定期的にエアフィルターをクリーニングする



注意

約 300 時間使用したら、必ずエアフィルターのクリーニングをしてください。
天井にプロジェクターを取り付けた場合はほこりがたまりやすくなりますので、特にこまめにクリーニングしてください。
クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する



注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

レーザー発光部をのぞかない



リモートコマンドーのレーザー発光部をのぞき込むと目に悪影響を与えることがあります。



このラベルはリモートコマンドーの後面に貼付されています。

レーザーポインターを人に向けて使用しない



目に悪影響を与えるなど、けがの原因となることがあります。

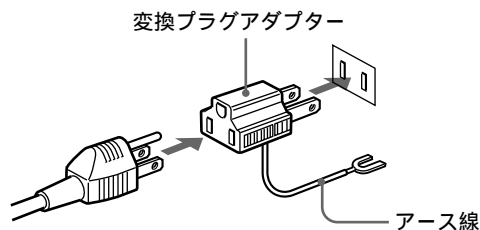
安全アースを接続する



アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。次の方法でアースを接続してください。

- ・電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを使用することで、安全アースが接続されます。
- ・電源コンセントが2極の場合
付属の3極→2極の変換プラグアダプターを使用し、変換プラグアダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続する。



不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

- 電池の液が目に入った → すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。
- 煙が出たら → お買い上げ店またはソニーのサービス窓口につながる。
- 電池の液が皮膚や衣服に付いたら → すぐにきれいな水で洗い流す。
- バッテリー収納部内で液が漏れたら → よくふき取ってから、新しい電池を入れる。



下記の注意事項を守らないと、**破裂・発熱・液漏れ**により、**死亡や大けが**などの人身事故になることがあります。



- ・乾電池は充電しない。
- ・火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・指定された種類の電池を使用する。



下記の注意事項を守らないと、**破裂・液漏れ**により、**けが**をしたり周辺物品に損害を与えたりすることがあります。



- ・投げつけない。
- ・使用推奨期限内（乾電池に記載）の乾電池を使用する。
- ・ \oplus と \ominus の向きを正しく入れる。
- ・電池を入れたまま長期間放置しない。
- ・新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない。
- ・水や海水につけたり濡らしたりしない。

ランプについての安全上 のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- ・衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- ・個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- ・交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながる可能性があります。

ランプ交換はランプが十分に冷えてから行う



電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、電源を切ってから1時間以上たって、十分にランプが冷えてから行なってください。



下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**物品**に損害を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する



注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。ソニーのサービス窓口でランプの交換と内部の点検を依頼してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

速やかに医師にご相談ください。

ランプを傾けて持たない



注意

ランプを傾けて持つとランプの破損時にランプの破片が飛び、けがの原因となることがありますので、水平に持ってください。

お願い

ソニーは環境保全のため、プロジェクターの使用済みランプの回収を行なっています。使用済みのランプは、最寄りのソニーサービスステーションまたはお買い上げのソニー特約店までお持ちくださるよう、ご協力をお願いいたします。

本機の特長

高輝度・高画質映像

高輝度

200 W 高輝度のUHPランプおよびマイクロレンズ付高開口率LCDパネルの採用により、VPL-PX31は2800 ANSIルーメン(VPL-PX21はマイクロレンズなしで1800 ANSIルーメン)の均一で明るい映像を再現できます。

高解像度

約79万画素の高精細1.3インチのXGAパネルを3枚採用し、RGB入力時には、水平解像度1024ドット、垂直解像度768ドットを、ビデオ入力時には、水平解像度750TV本を実現しました。

高画質映像

3次元ガンマ補正回路を搭載し、より均一性に富む映像を実現します。また、RGBエンハンサー機能搭載で、よりシャープなRGB映像を実現します。

手軽なセットアップ

より精度の高いソニーオリジナルのAPA (Auto Pixel Alignment) 機能を搭載

APAキーを押すだけで、自動的にコンピューターの画像をくつきり見える位置に合わせます。

手軽に外部機器を接続

あらかじめ44種類の入力信号がプリセットされているので、付属のケーブル1本の接続とAPAキーを押すだけで外部機器の映像を映すことができます。

USB端子、Digital RGB端子、5BNC端子を装備

USBマウスをはじめとするUSB機器を接続することでシステム拡張が可能のほか、付属のアプリケーションソフトウェアを使用して、Windows¹⁾ 98/98 Second Edition/2000オペレーティングシステム搭載のコンピューターからプロジェクターをコントロールすることが可能です。

また、Digital RGB端子を使用してDigital RGB機器と接続することができます。

さらに、ワークステーションなどへの高精細信号の接続や長距離伝送にも対応する5BNC入力端子を装備しています。

プレゼンテーションに便利な機能

マウスコントロール・レーザーポインター機能付きリモートコマンダー

マウスレシーバーを本体に内蔵しているため、リモートコマンダーからコンピューターを遠隔操作できます。また、プレゼンテーションに便利なレーザーポインターもついています。

リモートコマンダーにデジタルズームキー、ファンクションキー、ヘルプキーを装備

画面上の希望の位置を拡大したり、付属のアプリケーションソフトウェア(CD-ROM)を使用して、プレゼンテーションに使用するファイルをファンクションキーに登録し、付属のリモートコマンダーで自動的に起動することができます。またヘルプキーは、操作中にトラブルが生じた際の問題解決に役立ちます。

場所を選ばない機動性

重さ7.2 kg、ポータブルサイズを実現。コンピューターと一緒に手軽に持ち運べます。また、持ち運びに便利なハンドルを装備。

様々な入力信号に対応

スキャンコンバーターを搭載

スキャンコンバーターを内蔵、入力された信号を1024 x 768ドット内にアップ/ダウンコンバートします。

対応入力信号

コンポジット、Sビデオ、コンポーネントのビデオ信号をはじめ、15 k RGB、VGA²⁾、SVGA²⁾、XGA²⁾、SXGA²⁾信号を表示することができます。

6つのカラー方式に対応

自動切り換えでNTSC^{3,58)}、PAL、SECAM、NTSC^{4,43³⁾}、PAL-M、PAL-Nの6つのカラー方式に対応します。

その他の機能

プラグ&プレイ

本機は、VESA標準のDisplay Data Channel (DDCTM)⁴⁾規格である、DDC1とDDC2Bに対応しています。

DDC1のホストシステムが接続されているときは、本機はVESAスタンダードに基づき、V.CLKに同期してデータラインへEDID (Extended Display Identification Data)を出力します。

DDC2Bのホストシステムが接続されているときは、本機はそれぞれの通信に自動的に切り換わります。

1) Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

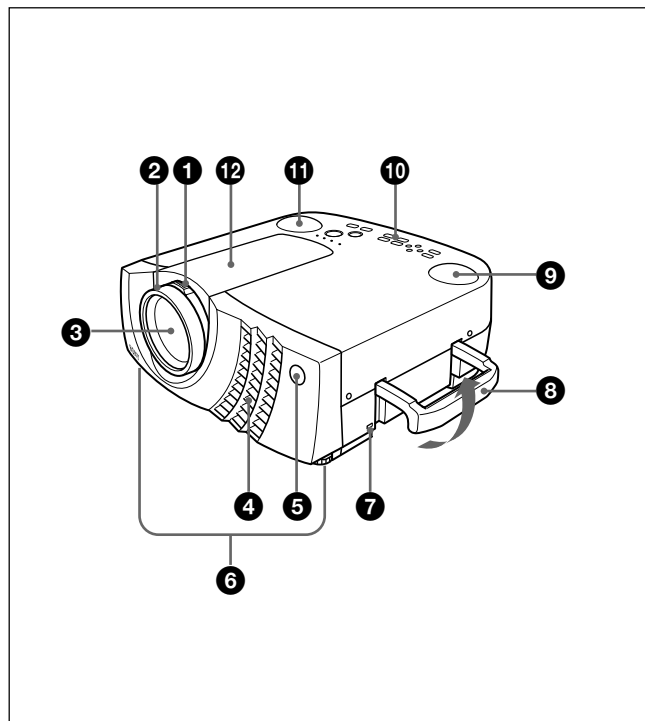
2) VGAとSVGA、XGA、SXGAは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。

3) NTSC^{4,43}とは、NTSC方式で録画されたビデオカセットを、NTSC^{4,43}方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。

4) DDCTMは、Video Electronics Standard Associationの登録商標です。

各部の名称と働き

前面 / 左側面



① ズームリング

画像の大きさ(ズーム)を調整します。

② フォーカスリング

画像のフォーカスを調整します。

③ レンズ

投影する前には、レンズキャップを開けてください。

④ 排気口

⑤ 前面リモコン受光部 (SIRCS受光部)

⑥ アジャスター

画像がスクリーンから外れてしまう場合、アジャスターで調整します。

アジャスターの使いかたについて詳しくは、「アジャスターの使いかた」(11 (JP) ページ)をご覧ください。

⑦ 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington¹⁾社製)などを接続することができます。

盗難防止用ロックは、キーケーブルロック等のセキュリティワイヤに対応しています。製品についての連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社 第3営業部

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-5-2はごろもビル

TEL : 03-3537-1070 FAX : 03-3537-1071

Kensingtonホームページアドレス

<http://www.kensington.com/>

⑧ キャリングハンドル

プロジェクター本体を持ち運ぶときに引き上げて使用します。

⑨ 左スピーカー

⑩ コントロールパネル

詳しくは、「コントロールパネル」(12 (JP) ページ)をご覧ください。

⑪ 右スピーカー

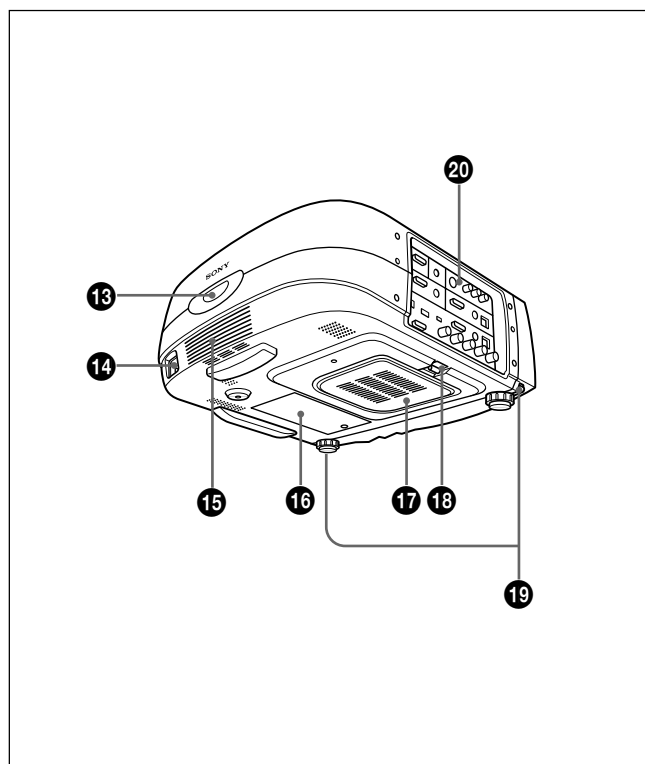
⑫ レンズフード

⑬ 後面リモコン受光部 (SIRCS受光部)

⑭ AC IN (電源) コンセント

付属の電源コードを接続します。

後面 / 右側面 / 底面



1) Kensington は Kensington 社の登録商標です。

- 15 後部スピーカー
- 16 ランプカバー
- 17 吸気口 / エアフィルターカバー

⚠ 警告

- ・排気口、吸気口をふさがないでください。
排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- ・排気口は高温になるので、手を触れたり、近くに物を置かないでください。

18 エアフィルターカバーボタン

エアフィルターカバーを取りはずすときに使います。

詳しくは「エアフィルターが汚れてきたら」(34(JP)ページ)をご覧ください。

ご注意

本機の性能を保持するために約300時間ごとに必ずエアフィルターのクリーニングを行ってください。

19 アジャスター調整ボタン

20 コネクターパネル

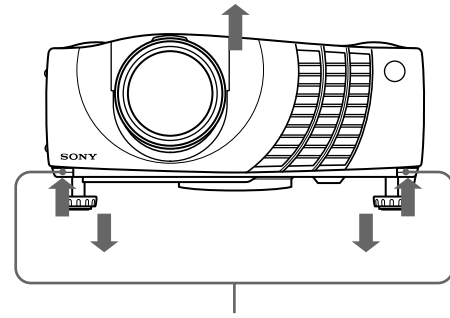
詳しくは、13(JP)ページをご覧ください。

アジャスターの使いかた

高さを調整するには

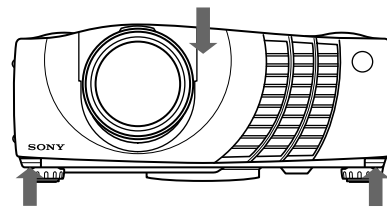
以下の手順で調整します。

- 1 プロジェクターを持ち上げ、アジャスター調整ボタンを押す。アジャスターがプロジェクター本体から出てきます。



アジャスター調整ボタン

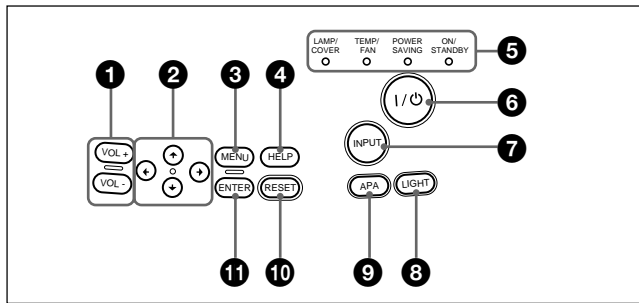
- 2 アジャスター調整ボタンを押しながら、プロジェクターを元に戻し、ボタンをはなす。アジャスターがロックされ、高さが固定されます。微調整が必要な場合は、アジャスターを左右に回して調整します。



ご注意

- ・プロジェクターを持ち上げるときは、手をはさまないようにしてください。
- ・アジャスターを出した状態で、プロジェクターを強く押さえないでください。

コントロールパネル



① VOL (音量) + / - キー

本体のスピーカーおよびAUDIO端子から出力される音量を調節するときに使います。

+ : 音が大きくなります。

- : 音が小さくなります。

② ↑/↓/←/→ (矢印) キー

メニューに表示されるカーソルを動かすときや、項目の数値を変えるときに使います。

③ MENU (メニュー) キー

メニューを画面に表示したいときに押します。もう1度押すとメニューは消えます。

④ HELP (ヘルプ) キー

操作中にトラブルが生じた場合に押します。ヘルプが画面に表示されます。トラブル発生時の解決方法を項目別に確認し、調整することができます。

⑤ インジケータ

LAMP (ランプ) / COVER (カバー): 以下の状態のとき、点灯または点滅します。

点灯: ランプの寿命がきたとき、またはランプの温度が高いとき。

点滅: ランプカバーまたはエアフィルターカバーがはずれているとき。

TEMP (温度) / FAN (ファン): 以下の状態のとき、点灯または点滅します。

点灯: プロジェクター内部の温度が上がったとき。

点滅: ファンが故障したとき。

POWER SAVING (パワーセービング): パワーセービング時に点灯します。初期設定メニューの「パワーセービング」を「オン」に設定し、本体に信号が入力されない状態が10分以上続くとパワーセービングになり、ランプが消え、ファンが回り続けます。最初の40秒間はすべてのキーを受け付けません。パワーセービングは、信号が入力されたり、キー操作をすると解除されます。

ON (電源) / STANDBY (スタンバイ): 以下の状態のとき、点灯または点滅します。

赤色に点灯: 電源コードをコンセントに差し込んだとき。この状態をスタンバイと呼び、I/Oキーで電源を入れることができます。

緑色に点灯: 電源が入っているとき。

緑色に点滅: I/Oキーで電源を切った後の約120秒間。

(本機内部の温度を下げるために、約120秒間ファンが回り続けます。)

はじめの40秒間は、ON/STANDBYインジケータが早い間隔で点滅します。この間は再びI/Oキーを押しても電源を入れることはできません。

LAMP/COVER、TEMP/FANインジケータについて詳しくは、36 (JP) ページをご覧ください。

⑥ I/O (オン / スタンバイ) キー

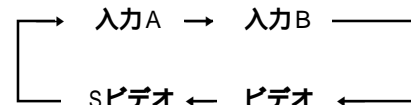
本体がスタンバイ状態のときに押すと、本体の電源が入り、ON/STANDBYインジケータが緑色に点灯します。

電源を切るときは、画面の表示にしたがって、I/Oキーを2度押すか、I/Oキーを約1秒押しただまにしてください。

電源を切る手順について詳しくは、「電源を切る」(23 (JP) ページ)をご覧ください。

⑦ INPUT (入力選択) キー

入力信号を選びます。押すたびに、映像 / 音声信号が以下の順番で切り換わります。



ビデオ / Sビデオの音声信号は共通です。

⑧ LIGHT (ライト) キー

本体の電源が入った状態で押すと、コントロールパネルのキー表示がオレンジ色に点灯します。もう一度押すと消灯します。

⑨ APA (Auto Pixel Alignment) キー

コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。上下左右のシフト調整も同時に行います。

ご注意

APAキーは、スクリーンいっぱいに画像が映っている時に押してください。

画像のまわりに黒い部分が残っている状態で押すと、正しくAPA機能が働かず、画像がスクリーンからはみ出してしまうことがあります。

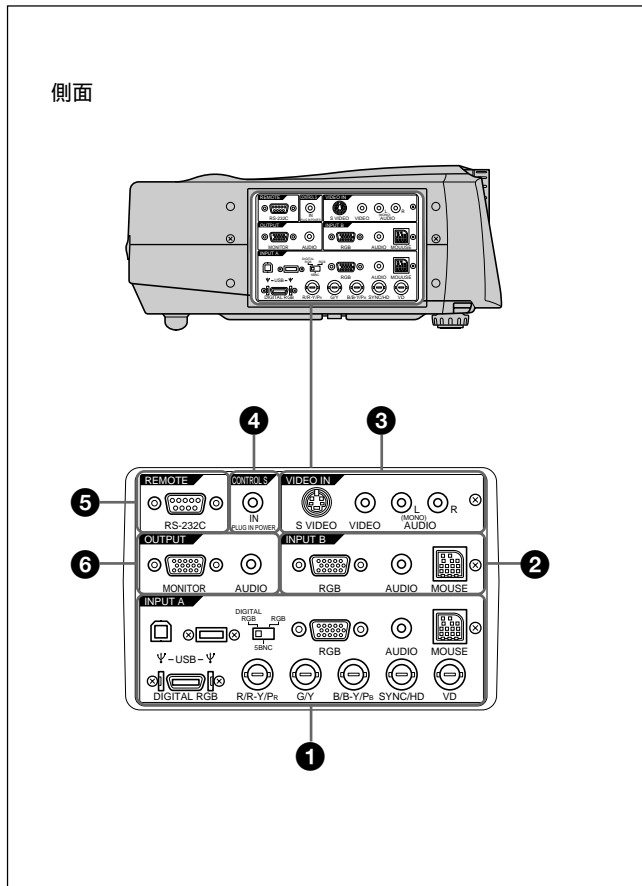
⑩ RESET (リセット) キー

調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すときに押します。メニュー画面、または項目を調整中(画面に表示中)に働きます。

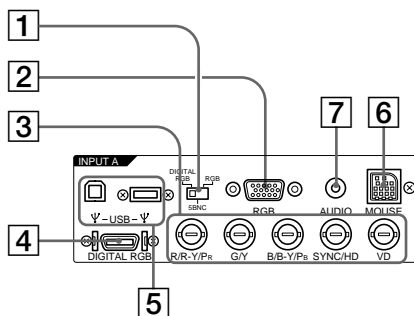
⑪ ENTER (確定) キー

メニューの設定項目を確定するときに押します。

コネクターパネル



① INPUT A (入力A) 端子



① DIGITAL RGB/5BNC/RGB 端子入力切り換えスイッチ:

INPUT AのDIGITAL RGB、5BNC、RGB端子の入力の切り換えをします。使用する端子に合わせて切り換えてください。
DIGITAL RGB: DIGITAL RGB 端子からの入力を選択されます。

5BNC: 5BNC 端子からの入力を選択されます。

RGB: RGB 端子からの入力を選択されます。

② RGB入力端子 (HD D-sub 15ピン、メス):

コンピューターのモニター出力端子に付属のケーブルで接続します。この端子はコンピューターの信号のみ入力することができます。

③ 5BNC入力端子 (R/R-Y/Pr端子、G/Y端子、B/B-Y/Pb端子、SYNC/HD端子、VD端子) (BNC型):

プロジェクターを天井吊りで使用するときなど信号の長距離伝送が必要な場合や、高解像度のコンピューターやビデオなどの映像出力に接続します。

接続する機器に応じて、コンピューター信号、コンポーネント (R-Y/Y/B-Y) 信号、HDTV または DTV (DTV GBR, DTV YPbPr) を入力することができます。

④ DIGITAL RGB入力端子 (DFP20ピン、TMDS方式):

デジタルRGB出力端子をもつ機器と接続します。

⑤ USB 端子:

コンピューターや他のUSB端子を持つ機器と接続します。

Aプラグ (右、ダウンストリーム用4ピン): 他のUSB機器と接続します。

Bプラグ (左、アップストリーム用4ピン): コンピューターと接続します。コンピューターと本機を接続すると、本機は自動的にUSBマウスが接続されていると認識し、INPUT Aのいずれかの端子に接続されたコンピューターのマウス機能を付属のリモートコンマnderから操作できるようになります。また付属のアプリケーションソフトウェアを使用する際に本機とコンピューターを接続します。

⑥ MOUSE (マウス) 端子 (角形13ピン):

コンピューターのマウス機能を操作するとき、付属のマウスケーブルでコンピューターのマウスポートと接続します。

⑦ AUDIO (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック):

コンピューターの音声出力端子と接続します。

② INPUT B (入力B) 端子

コンピューターなどの映像と音声を入力します。また、リモートコンマnderからマウス信号をコントロールすることができます。

RGB入力端子 (HD D-sub 15ピン、メス): コンピューターのモニター出力端子に付属のケーブルで接続します。この端子はコンピューターの信号のみ入力することができます。

AUDIO (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック): コンピューターの音声出力端子と接続します。

MOUSE (マウス) 端子 (角形13ピン): コンピューターのマウス機能を操作するとき、付属のマウスケーブルでコンピューターのマウスポートと接続します。

③ VIDEO IN (映像入力) 端子

ビデオデッキなどの映像を入力します。

S VIDEO (S映像) 端子 (ミニDIN4ピン) : ビデオデッキなどのS映像出力端子と接続します。

VIDEO (映像) 端子 (ピンジャック) : ビデオデッキなどの映像出力端子と接続します。

AUDIO (音声入力) L (MONO) / R 端子 (ピンジャック) : ビデオデッキなどの音声を聞くと、ビデオデッキなどの音声出力端子と接続します。ステレオの場合は、LとRの両方に接続してください。モノラル機器の場合は、L (MONO) のみに接続してください。

S VIDEO/VIDEO 共通で接続です。

④ CONTROL S IN (コントロールS信号入力)/PLUG IN POWER (DC 5 V) 端子 (ステレオミニジャック)

コントロールS出力端子のあるソニー製品に接続します。

付属のリモートコンマnderのCONTROL S OUT 端子と接続すると、ワイヤードコンマnderとして使用することができます。このとき、電源は本体から供給されるので電池を入れる必要がありません。

⑤ RS-232C 端子 (D-sub 9ピン、メス)

コンピューターから本機を操作するときに、コンピューターのコネクターと接続します。

⑥ OUTPUT (出力) 端子

MONITOR 端子 (HD D-sub 15ピン、メス) : モニターの入力端子に接続します。INPUT A (RGB 端子または5BNC 端子) または INPUT B の RGB 端子に接続された信号のうち、現在選ばれているチャンネルの信号を出力します。DIGITAL RGB 端子に接続された信号は出力されません。

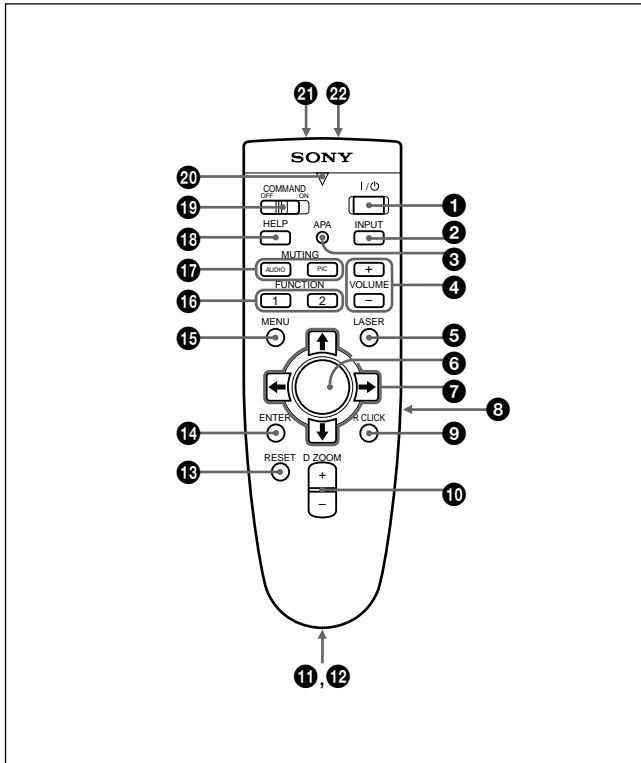
AUDIO (音声出力) 端子 (ステレオミニジャック) : アクティブスピーカーに接続します。リモートコンマnderのVOLUME キーまたはコントロールパネルのVOLキーで音量を調整できます。

リモートコマンダー

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。

また、本機のリモートコマンダーからコンピューターを操作できます。

詳しくは、「コンピューターを接続する」(17 (JP)ページ)をご覧ください。



① I / 〇 (オン/スタンバイ) キー

② INPUT (入力選択) キー

③ APA (Auto Pixel Alignment) キー

④ VOLUME (音量) + / - キー

⑤ LASER (レーザー) キー

押すと、レーザーがレーザー発光部から出力されます。

⑥ ジョイスティック

本機と接続しているコンピューターのマウス機能を操作します。

⑦ ↑/↓/←/→ (矢印) キー

⑧ L CLICK (左クリック) キー

マウスの左ボタンの働きをします。Macintosh¹⁾と接続しているときは、マウスボタンの働きをします。

⑨ R CLICK (右クリック) キー

マウスの右ボタンの働きをします。Macintoshと接続しているときは、マウスボタンの働きをします。

⑩ D ZOOM (ズーム) + / - キー

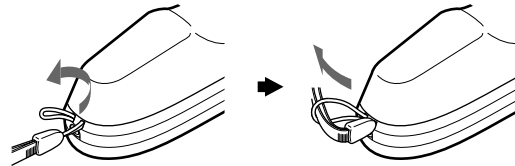
画面上の希望の位置を拡大することができます。(デジタルズーム機能)

+ キー: + キーを一度押すと、拡大する位置を示すアイコンが表示されます。↑/↓/←/→キーを使って拡大したい位置にアイコンを移動し、もう一度+ キーを押すと、画像が拡大されます。

- キー: - キーを押すと、D ZOOMキーで拡大した画面が縮小されます。

⑪ ストラップホルダー

付属のストラップを取り付けて使用することができます。



⑫ CONTROL S OUT (コントロールS出力) 端子

ワイヤードリモコンとして使う場合に、プロジェクターのCONTROL S IN 端子とつながります。リモコンケーブル(ステレオタイプ)で接続しているときは、プロジェクターからリモコン用の電源が供給されます。

⑬ RESET (リセット) キー

⑭ ENTER (確定) キー

⑮ MENU (メニュー) キー

⑯ FUNCTION 1, 2 (ファンクション 1, 2) キー

付属のアプリケーションソフトウェアを使用する場合に働きます。アプリケーションソフトウェアを使ってあらかじめ任意のファイルをこのキーに登録しておくと、FUNCTION キーを押すだけでファイルを開くことができます。プレゼンテーションなどに便利です。ファイルの登録のしかたについては、アプリケーションソフトウェアに付属のヘルプを参照してください。

⑰ MUTING (ミュート) キー

映像や音声を一時的に消すときに使います。

PIC (映像): 映像を一時的に消すときに押します。もう1度押すと、解除されます。

AUDIO (音声): スピーカーおよびAUDIO端子から出力される音声を一時的に消すときに押します。もう1度押すか、またはVOLUME + キーを押すと、解除されます。

1) MacintoshはApple Computer社の登録商標です。

⑩ HELP (ヘルプ) キー

操作中にトラブルが生じた場合に、このキーを押します。ヘルプ画面が表示されます。

⑪ COMMAND ON/OFF (コマンダー 入/切) スイッチ

このスイッチをOFFにすると、リモートコマンダーのキーがすべて動かなくなります。使わないときにOFFにしておくと、電池の消耗を防ぐことができます。

⑫ 送信インジケーター

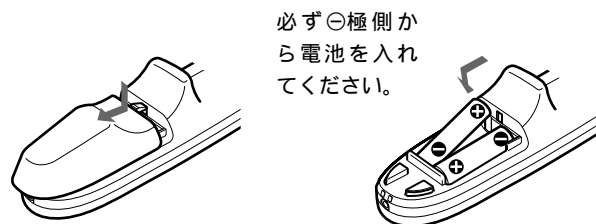
リモートコマンダーから発光しているときに点灯します。ただし、レーザーポインター使用時は点灯しません。

⑬ リモートコマンダー発光部

⑭ レーザー発光部

電池の入れかた

- 1 ふたをはずし、⊕と⊖の方向を確認して単3形乾電池2個(付属)を入れる。



必ず⊖極側から電池を入れてください。

- 2 ふたを閉める。

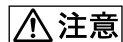
電池についての安全上のご注意



7 (JP) ページの「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

リモートコマンダーが正常に動かなかったり、レーザーが暗くなったら、電池を交換してください。

レーザーに関するご注意



- ・リモートコマンダーのレーザー発光部をのぞきこむと目に悪影響を与えることがあります。
- ・レーザーを人に向けて使用しないでください。

リモートコマンダーのご注意

- ・リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。
- ・リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。

設置する

本機の設置方法を説明します。

スクリーンの左右の中心

レンズの中心からスクリーンまでの距離はスクリーンサイズによって変わります。
下の表の最小距離と最大距離の範囲で設置してください。

スクリーンサイズ (インチ)

距離

単位: m

スクリーンサイズ (インチ)	40	60	80	100	120	150	200	300	
距離	最小	1.5	2.3	3.1	3.9	4.6	5.8	7.8	11.7
	最大	1.8	2.8	3.7	4.7	5.7	7.1	9.5	14.3

接続する

コンピューターを接続する

ここではコンピューターを本機に接続する方法を説明します。
 なお、付属のアプリケーションソフトウェアを使用してコンピューターからプロジェクターをコントロールする場合やUSB機器を使用する場合は、「USB機器(USBマウスなど)を使用する場合」を参照して接続してください。

コンピューターを本機に接続すると、本機のリモートコマンダーからコンピューターのマウス機能进行操作することができます。

R CLICKキーとL CLICKキー、ジョイスティックは以下のように働きます。

ご注意

リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

キー	機能	
	IBM PC/AT ¹⁾ 互換機、NEC ²⁾	Macintosh
R CLICK (前面)	右ボタン	マウスポタン
L CLICK (後面)	左ボタン	マウスポタン
ジョイスティック	マウスの動きに対応	

接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

ご注意

- 本機は、VGA、SVGA、XGA、SXGA信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターの出力信号をXGAに設定することをおすすめします。
- ノート型のIBM PC/AT互換機などで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方から出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。
 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- INPUT A/B端子のRGB入力端子およびINPUT A端子のDIGITAL RGB入力端子は「VESA DDC2B」に対応しています。お使いのコンピューターまたはグラフィックボードがDDCに対応している場合は、以下の手順に従って電源を入れてください。
 - 1 本機とコンピューターをHD D-sub 15ピンケーブルで接続する。
 - 2 本機の電源を入れる。
 - 3 コンピューターを起動する。

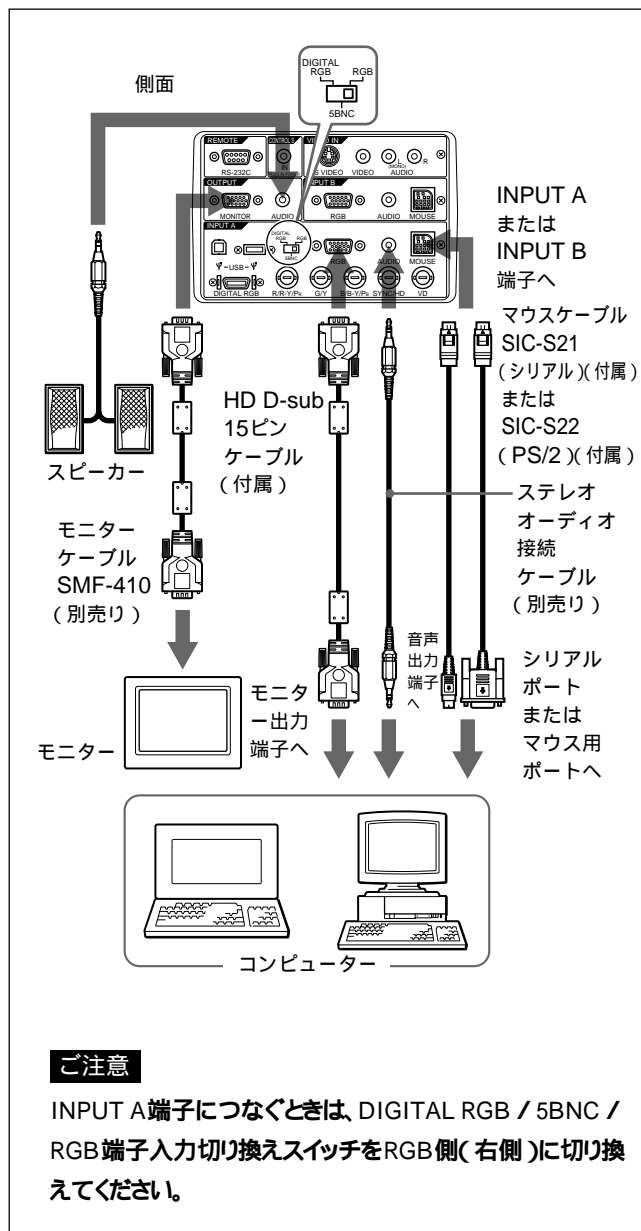
接続するときは：

- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

ご注意

- INPUT A端子から入力するときは、コンピューターの接続ケーブルをすべてINPUT A端子につないでください。
 INPUT B端子から入力するときは、すべてINPUT B端子につないでください。
- コンピューターの種類によっては、付属のマウスケーブルが使用できないことがあります。

IBM PC/AT互換機を接続する場合



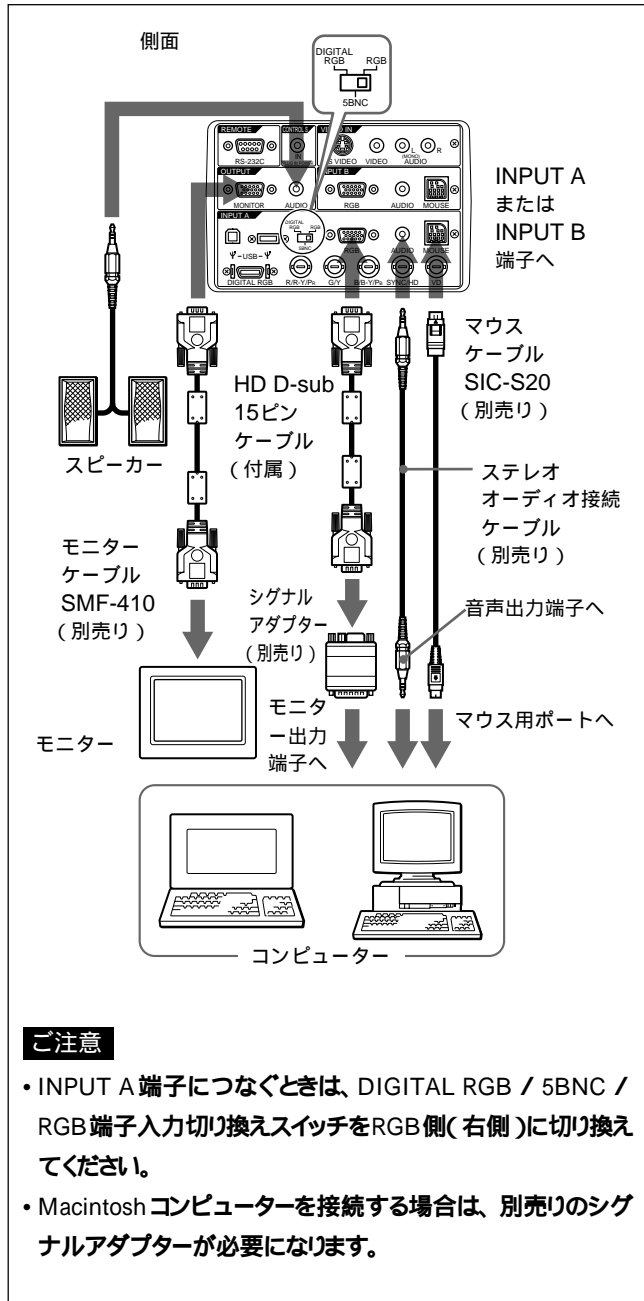
ご注意

INPUT A端子につなぐときは、DIGITAL RGB / 5BNC / RGB端子入力切り換えスイッチをRGB側(右側)に切り換えてください。

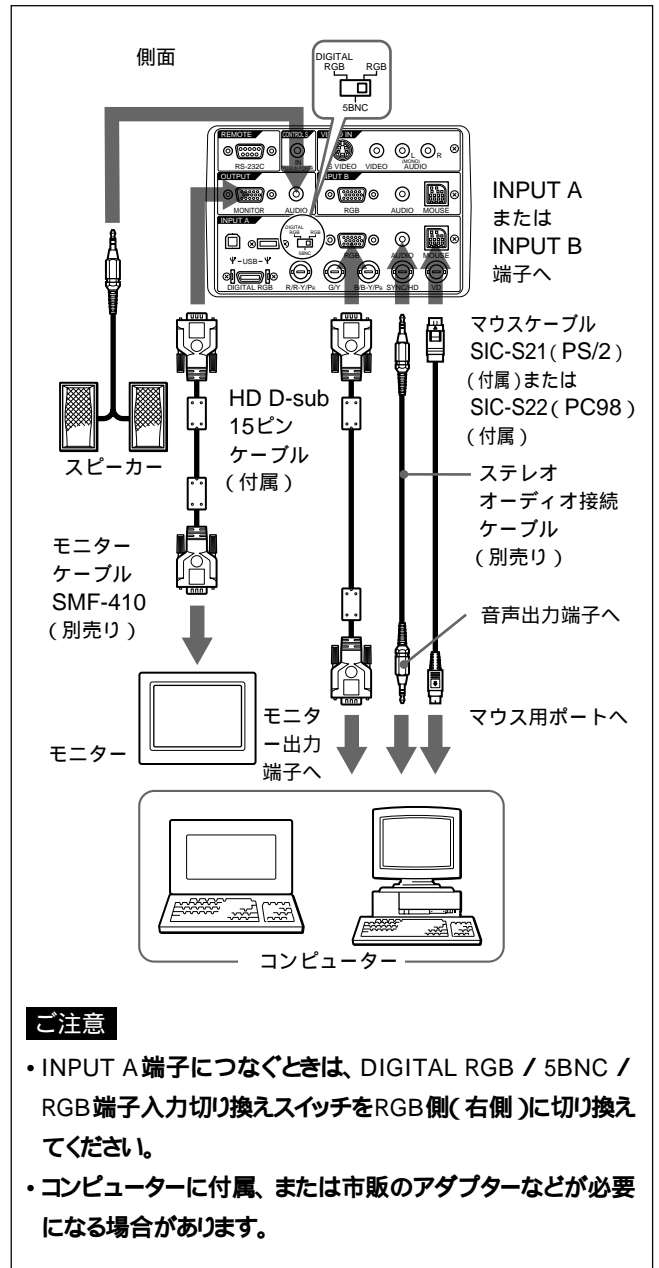
1) IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の商標および登録商標です。

2) NEC は日本電気(株)の登録商標です。

Macintoshを接続する場合



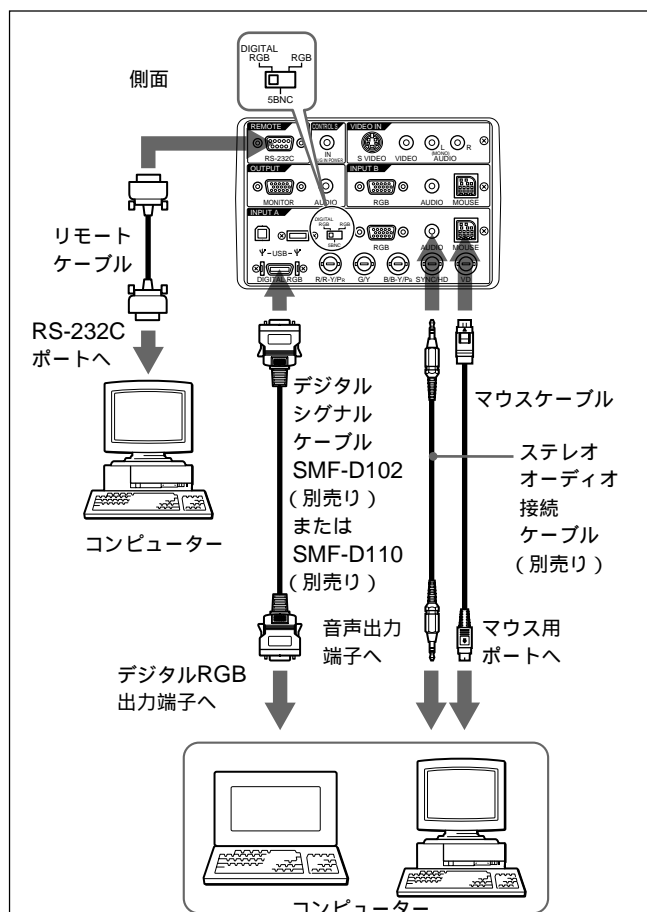
NEC PC-98¹⁾シリーズまたはその互換機を接続する場合



¹⁾ PC-98は日本電気(株)の商標です。

DIGITAL RGB (TMDS方式) 端子を使用する場合

本機コネクタパネルのDIGITAL RGB(TMDS方式)端子に接続します。



ご注意

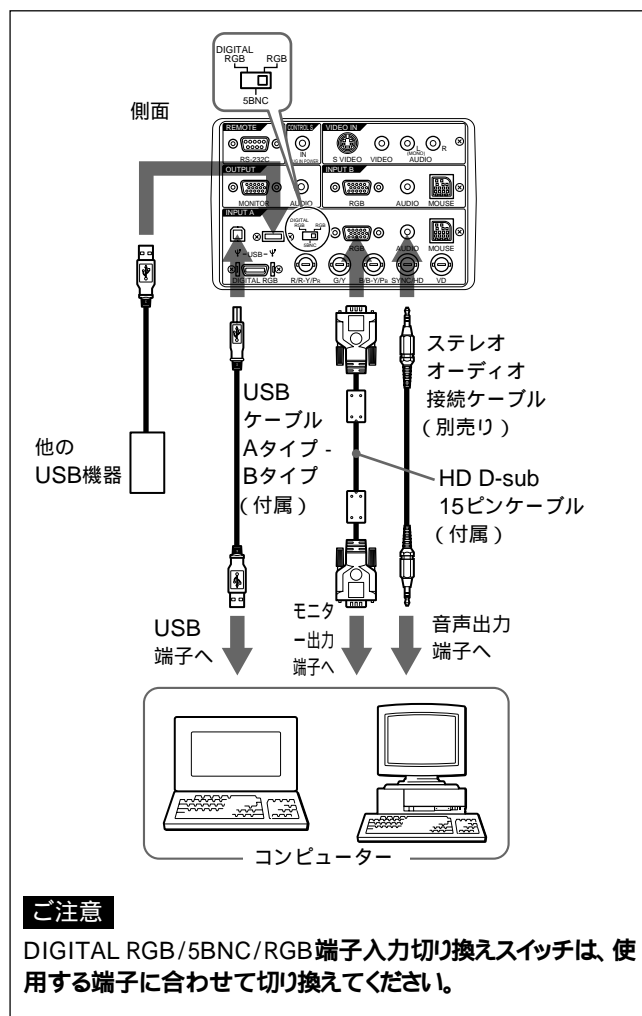
- マウスケーブルは、使用するコンピューターの機種によって選んでください。
- マウスは、USB マウスを使うこともできます。USB マウスの接続については、“USB 機器 (USB マウスなど) を使用する場 合”をご覧ください。
- DIGITAL RGB/5BNC/RGB 端子入力切り換えスイッチは、DIGITAL RGB 側 (左側) に切り換えてください。
- デジタルRGB 機器の接続には、必ず別売りのデジタルシグナルケーブルSMF-D102またはSMF-D110を使用してください。他の市販のケーブルを使用すると、画にノイズが出ることがあります。

ご注意

DIGITAL RGB (TMDS方式) 端子を使用する場合は、MONITOR 端子から映像信号は出力されません。

USB機器 (USBマウスなど) を使用する場合

本機コネクタパネルのUSB端子に接続します。映像入力端子として、RGB 端子、5BNC 端子、DIGITAL RGB 端子のどれでも使用することができます。(下図は、RGB端子を使用した場合の例です。)



ご注意

DIGITAL RGB/5BNC/RGB 端子入力切り換えスイッチは、使用する端子に合わせて切り換えてください。

USB機能について

USBケーブルを使ってプロジェクターとコンピューターを初めて接続すると、以下のデバイスがコンピューターに自動認識されます。

- 汎用USBハブ
- USBヒューマンインターフェイスデバイス(ワイヤレスマウス機能)
- USBヒューマンインターフェイスデバイス(プロジェクターコントロール機能)

上記以外に、プロジェクターのダウンストリーム用端子に接続したデバイスがお使いのコンピューターに認識されます。

推奨動作環境

USB機能を使用する場合は、上の図のように接続してください。アプリケーションソフトウェアおよびUSB機能は、Windows 98、Windows 98 SEおよびWindows 2000を標準搭載したコンピューター上でご使用いただけます。

ご注意

- USB端子を使ってコンピューターを接続すると自動的にUSBマウスが認識されるので、MOUSE端子に何も接続しないでください。
- 本機とコンピューターをUSBケーブルで接続したままコンピューターを起動させると、正しく起動しない場合があります。その場合は、一度接続を外し、コンピューターを再起動してから、USBケーブルを接続してください。
- 本機はサスペンド・スタンバイモードを保証していません。サスペンド・スタンバイモードを行うときは、本機をUSBポートから外してください。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

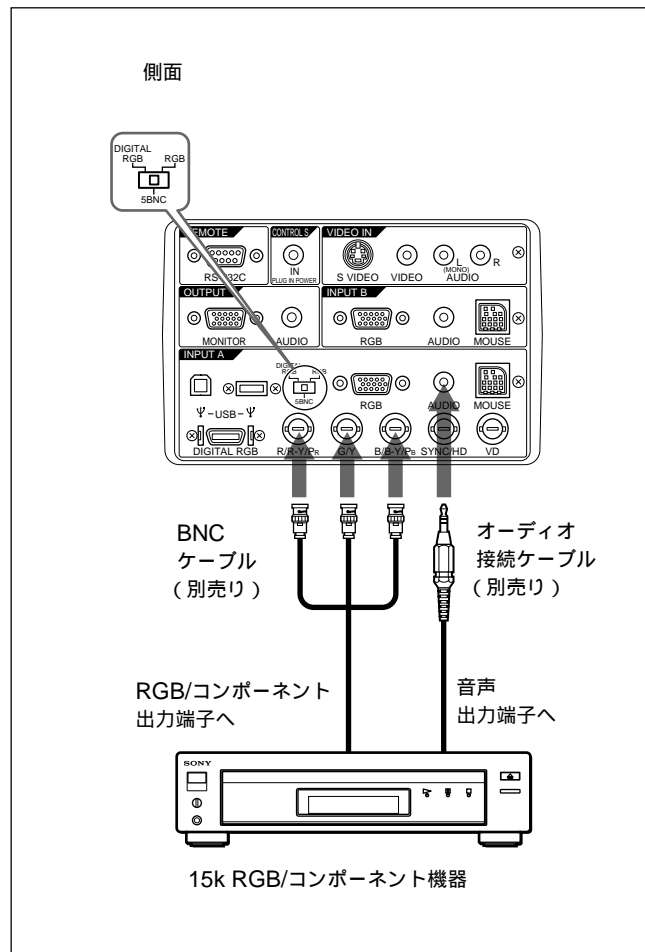
ビデオ機器 / 15k RGB / コンポーネント機器を接続する

ここではビデオ機器やアクティブスピーカー、15k RGB / コンポーネント機器を本機に接続する方法を説明します。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

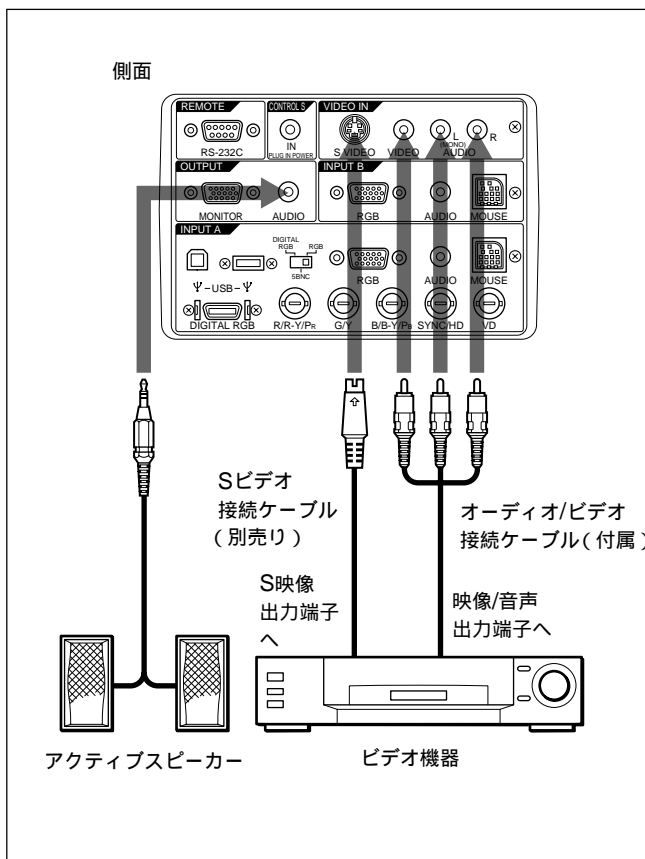
接続するときは：

- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。



ご注意

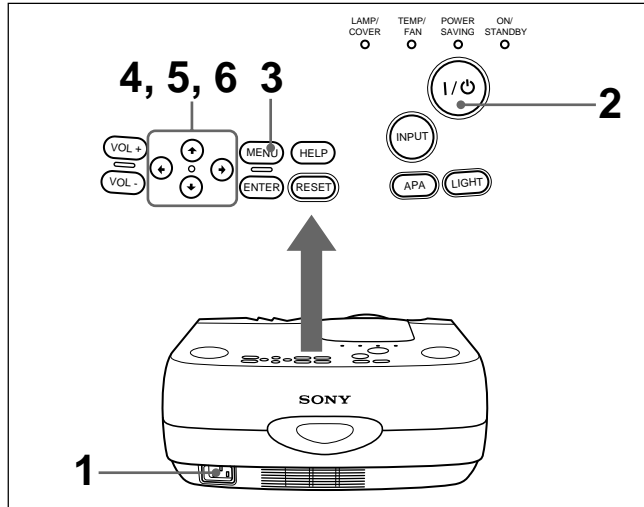
- 入力する信号に応じて、信号設定メニューの「アスペクト」を設定してください。
- 15k RGB/コンポーネント機器を接続する場合は、初期設定メニューの「入力A」の項目でコンピューター/コンポーネント/DTV YPbPr/DTV GBRを切り換えてください。
- 15k RGB/コンポーネント信号を外部同期信号で入力する場合は、複合同期信号にしてください。
- ハイビジョン機器も接続することができます。接続方法は上記と同じです。
HDTV (1035/60i)を接続する場合は
ハイビジョン映像は16:9画面のため、垂直方向は576ラインで表示されます。このためハイビジョン本来の解像度は得られません。



メニュー表示言語を切り換える

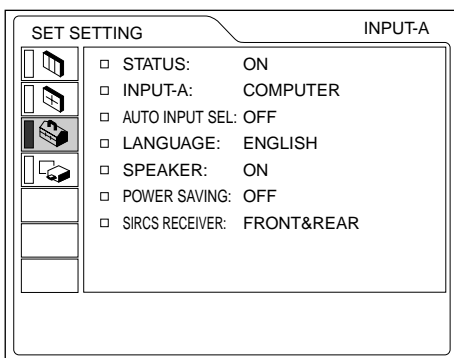
メニュー画面やメッセージの表示言語を好きな言葉に切り換えることができます。

お買い上げ時は「ENGLISH」(英語)に設定されています。



- 1 電源コードをコンセントに差し込む
- 2 I / ⏻ キーを押して、電源を入れる。
- 3 MENU キーを押す。
メニュー選択画面が表示されます。
- 4 ↑または↓ キーを押して「SET SETTING MENU」(初期設定メニュー)を選び、→またはENTER キーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。



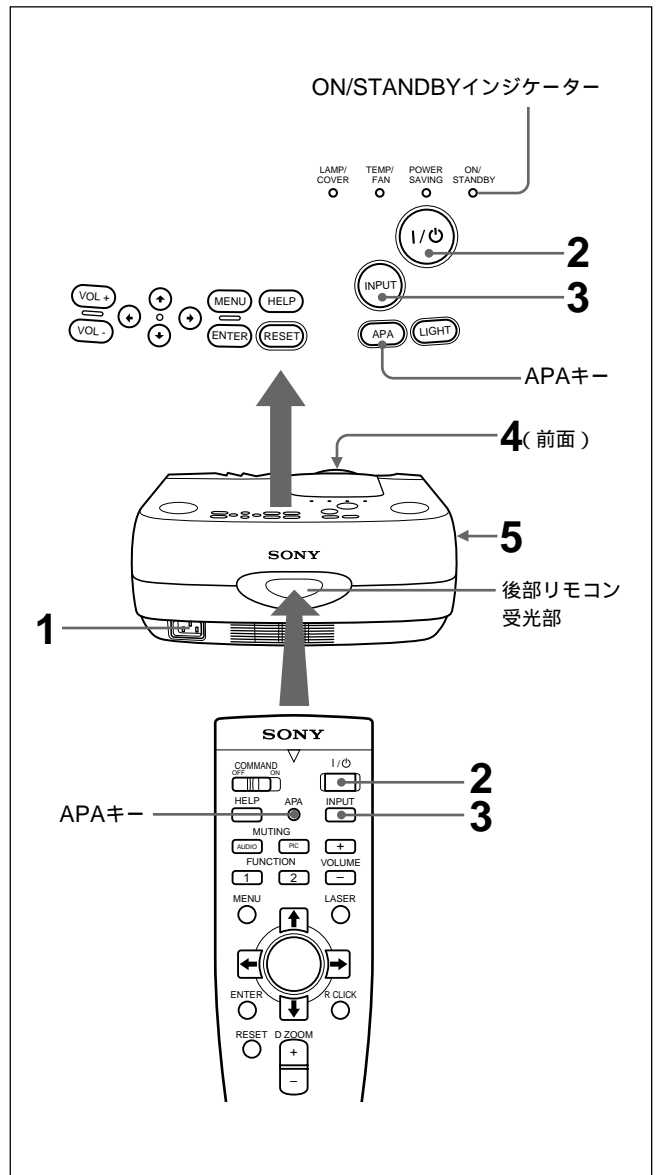
- 5 ↑または↓ キーを押して「LANGUAGE」(表示言語)を選び、→またはENTER キーを押す。
- 6 ↑または↓ キーを押して表示させたい言語を選び、←またはENTER キーを押す。

メニューの表示言語が、選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには
MENU キーを押す。

約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

スクリーンに画像を映す



- 1 各機器の接続が終了したら、電源コードをコンセントに差し込む。

ON/STANDBYインジケータが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。

- 2 I / ⏻ キーを押して、電源を入れる。

ON/STANDBYインジケータが緑色に点灯します。

3 接続した機器の電源を入れ、INPUTキーを押して、投影する機器を選ぶ。

入力A: コンピューターなど、INPUT A 端子につないだ機器の映像 / 音声信号を入力するとき。

入力B: コンピューターなど、INPUT B 端子につないだ機器の映像 / 音声信号を入力するとき。

ビデオ: VIDEO IN 端子のVIDEO 端子とAUDIO 端子につないだビデオ機器の映像 / 音声信号を入力するとき。

Sビデオ: VIDEO IN 端子のS VIDEO 端子とAUDIO 端子につないだビデオ機器の映像 / 音声信号を入力するとき。

ご注意

VIDEO IN 端子のAUDIO 端子はVIDEO/S VIDEO 共通で1系統のみです。

4 ズームリングを回して、画像の大きさを調整する。

5 フォーカスリングを回して、フォーカスを調整する。

警告

投影中にレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

こんなときは	操作
音量を調節する	リモートコマンダーのVOLUME + / - キーまたはコントロールパネルのVOL + / - キーを押す。
音だけ消す	リモートコマンダーのAUDIO MUTING キーを押す。(AUDIO OUT 端子から出力される音声も消えます。) 再び音を出すには、もう1度AUDIO MUTING キーを押すか、リモートコマンダーのVOLUME + キーまたはコントロールパネルのVOL + キーを押します。
映像だけ消す	リモートコマンダーのPIC MUTING キーを押す。 再び映像を出すには、もう1度PIC MUTING キーを押します。

くっきりとした画像を得るには

コンピューターからの信号を入力しているときは、画質を自動的に調整することができます。APAキーを押してください。くっきり見える位置に画像を合わせることができます。

ご注意

- 調整は、コンピューターの画面が静止画のときに行ってください。
- APAキーは、スクリーンいっぱい画像が映っている時に押してください。画像のまわりに黒い部分が残っている状態で押すと、正しくAPA機能が働かず、画像がスクリーンからはみ出してしまふことがあります。
- 入力を切り換えたり、コンピューターを接続し直したときは、もう1度APAキーを押してください。
- 調整中は「調整中」というメッセージが表示されます。調整中にもう1度APAキーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
- 正しく調整されると「終了しました!」というメッセージが画面に表示されます。信号によっては、正しく調整されないことがあります。
- 画質を手動で調整するときは、信号設定メニューの項目を調整してください。

詳しくは、26 (JP) ページをご覧ください。

画が台形に映っているときは

投影した画像が台形になってしまった場合、アジャスターを使って本体の設置位置を調整することで補正します。

アジャスターの使いかたについては「アジャスターの使いかた」(11 (JP) ページ)をご覧ください。

それでも画像が直らない場合は、設置設定メニューの「デジタル台形補正」で補正することができます。

画像の上辺より下辺が長い場合(下図参照)



画像の下辺より上辺が長い場合(下図参照)



「デジタル台形補正」について詳しくは、(29 (JP) ページ)をご覧ください。

電源を切る

1 I / ⏻ キーを押す。

「パワーオフしますか?」というメッセージが表示されます。

ご注意

確認のメッセージはI / ⏻ キー以外のキーを押すか、5秒間何もキーを押さないと消えます。

2 I / ⏻ キーを再び押す。

ON/STANDBYインジケータが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが約120秒間回り続けます。はじめの40秒間は早い間隔で点滅します。この間は再びI / ⏻ キーを押しても電源を入れることはできません。

3 ファンが止まり、ON/STANDBYインジケータが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。

画面のメッセージを確認できない場合は状況により画面のメッセージを確認できない場合は、手順1、2の操作のかわりにI / ⏻ キーを約1秒押ししたままにしても電源を切ることができます。

ご注意

ファンが回っている間は、電源コードを抜かないでください。ファンが止まり、本機内部の温度が充分下がらないため、故障の原因となることがあります。

エアフィルターについて

本機の性能を保持するために、約300時間ごとに必ずエアフィルターのクリーニングを行ってください。

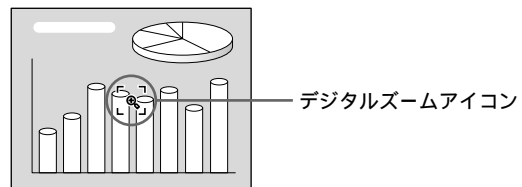
プレゼンテーションに便利な機能

画面を拡大する(デジタルズーム機能)

画面上の希望の位置を拡大できます。

1 リモートコマンダーのD ZOOM + キーを押す。

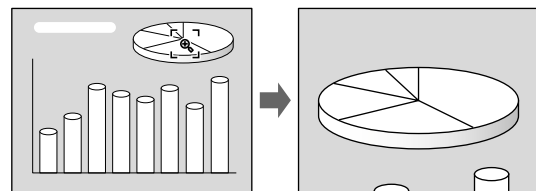
画面中央にデジタルズームのアイコンが表示されます。



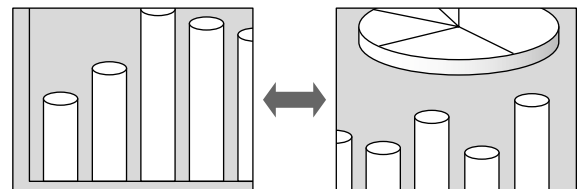
2 ↑/↓/←/→キーを使って、拡大したい位置にアイコンを移動する。

3 もう一度D ZOOM + キーを押す。

アイコンのある位置を中心に画像が拡大されます。+キーを押すごとに拡大率が上がります(最大4倍)



また、この状態で↑/↓/←/→キーを押すと、拡大されたまま画像の位置が移動します。



拡大した画像をもとの大きさに戻すにはリモートコマンダーのD ZOOM - キーを押します。

レーザーポインターを使うには

リモートコマンダーのLASERキーを押すと、レーザーが出力されます。画面のポインターとして使うと便利です。

メニューの操作方法

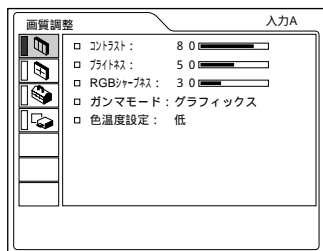
本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。

メニューの言語を変えるには、28 (JP)ページをご覧ください。

1 MENUキーを押す。

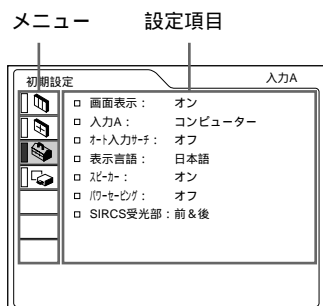
メニュー選択画面が表示されます。

現在選択されているメニューアイコン上のバーが黄色く表示されます。



2 ↑または↓キーを押してメニューを選び、→またはENTERキーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。



3 設定項目の調整や設定をする。

詳しくは、それぞれのメニューのページをご覧ください。

メニュー画面を消す

MENUキーを押す。

約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

設定値をリセットする

RESETキーを押す。

「終了しました!」というメッセージが表示され、画面に表示中の設定値が工場出荷時の値に戻ります。

リセットできる項目は以下のとおりです。

- ・画質調整メニューの「コントラスト」と「ブライトネス」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」、「RGBシャープネス」
- ・信号設定メニューの「ドットフェーズ」と「サイズH」、「シフト」

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

入力信号がない場合

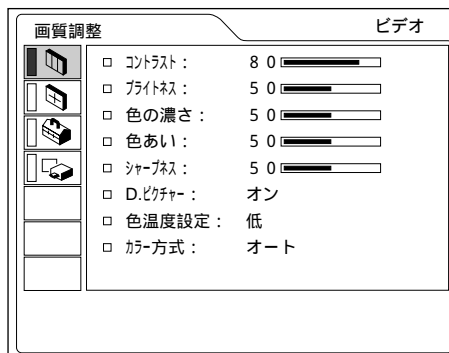
入力信号がない場合は、「入力信号がないときはこの項目は調整できません。」というメッセージが表示されます。このとき各項目を調整することはできません。

画質調整メニュー

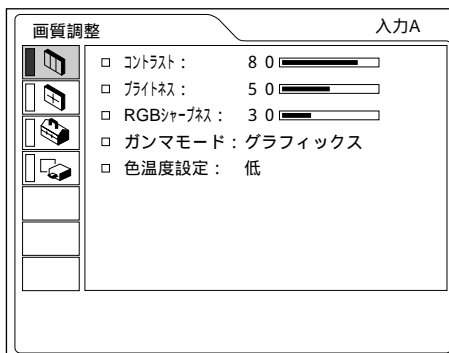
画質を調整するメニューです。

入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

ビデオ信号を入力しているとき



RGB信号を入力しているとき



操作方法

1. 項目を選ぶ

↑または↓キーで設定項目を選び、→またはENTERキーを押す。

2. 項目を調整する

• 数値を変更する項目の場合:

数値を大きくするときは、↑または→キーを押す。

数値を小さくするときは、↓または←キーを押す。

ENTERキーを押すと元の画面に戻ります。

• 設定を選ぶ場合:

↑または↓キーを押して設定を選び、←またはENTERキーを押す。

元の画面に戻ります。

コントラスト

コントラストを調整します。

設定値が大きくなると強くなり、小さくなると弱くなります。

ブライトネス

明るさを調整します。

設定値が大きくなると明るくなり、小さくなると暗くなります。

色の濃さ

色の濃さを調整します。

設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。

色あい

色あいを調整します。

設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。

シャープネス

シャープネスを調整します。

設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかくなります。

RGBシャープネス

RGB信号の入力時にシャープネスを調整します。

設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかくなります。

D(ダイナミック).ピクチャー

黒の強調をします。

オン: 黒をより黒く再現し、メリハリのきいた画面にします。

オフ: 画面の暗い部分を、映像ソースに忠実に再現します。

ガンマモード

ガンマ補正曲線を選びます。

グラフィックス: 中間調の再現性が高くなります。写真を自然な階調で再現します。

テキスト: 白と黒の対比をはっきりさせます。文字の多い画像に適しています。

色温度設定

画像に合わせて好みの色温度を選びます。

高: 画像の白い部分を青みがかった白にします。

低: 画像の白い部分を赤みがかった白にします。

カラー方式

カラーシステムを選びます。

オート: NTSC^{3.58}、PAL、SECAM、NTSC^{4.43}の中から自動判別

PAL-M/N: PAL-M/PAL-N、NTSC^{3.58}の中から自動判別

通常は「オート」にしておくと、自動的に判別します。信号の状態が悪く、画が乱れたり色がつかない場合は、入力信号のカラー方式に合わせて選択してください。

入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号				
	ビデオまたはSビデオ	コンポーネント	ハイビジョン	RGB ¹⁾	白黒信号
コントラスト					
ブライトネス					
色の濃さ				×	×
色あい	(NTSC 3.58/ 4.43のみ)			×	×
シャープネス				×	
RGBシャープネス	×	×	×		×
D.ピクチャー		(15k 60/ 50のみ)	×	×	
ガンマモード	×	×	×		×
色温度設定					
カラー方式		×	×	×	

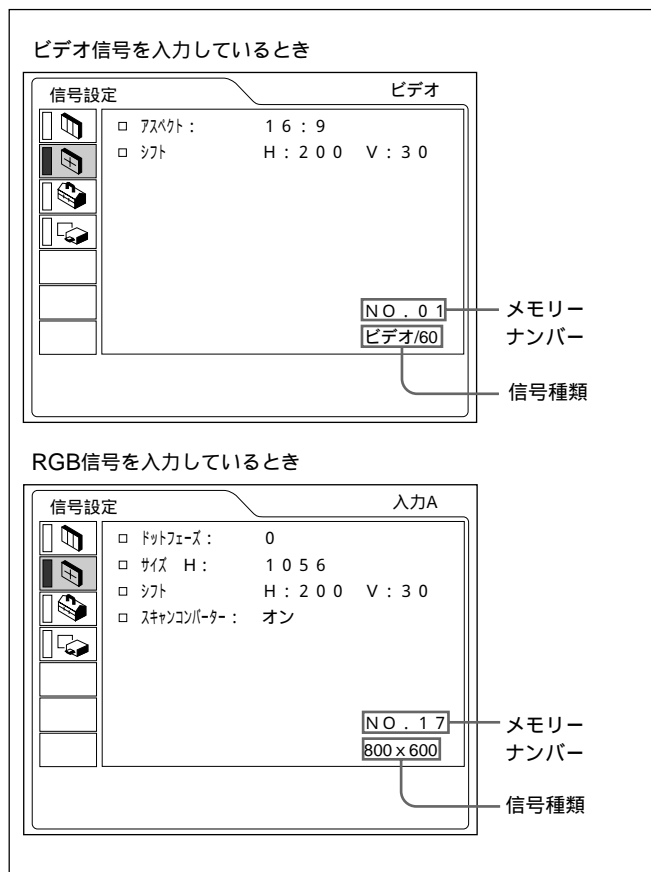
: 調整・設定できる項目 ×: 調整・設定できない項目

1) コンピューターのRGB信号

信号設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。

入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。



操作方法

1. 項目を選ぶ

↑または↓キーで設定項目を選び、→またはENTERキーを押す。

2. 項目を調整する

・数値を変更する項目の場合:

数値を大きくするときは、↑または→キーを押す。

数値を小さくするときは、↓または←キーを押す。

ENTERキーを押すと元の画面に戻ります。

・設定を選ぶ場合:

↑または↓キーを押して設定を選び、←またはENTERキーを押す。

元の画面に戻ります。

ドットフェーズ

LCDパネルとINPUT A/B端子から入力される信号の位相を調整します。APAキーを押して調整した後、さらに画像をくっきりさせた場合に調整します。

画像がいちばんくっきりと見える位置に合わせます。

サイズ H

INPUT A/B端子から入力される画像の水平方向の大きさを調整します。

設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値に合わせてください。プリセット信号に対するサイズは、27 (JP)ページをご覧ください。

シフト

INPUT A/B端子およびVIDEO IN端子から入力される画像の位置を調整します。

Hで水平方向の位置を、Vで垂直方向の位置を調整します。

Hの設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。

Vの設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。

←または→キーで水平方向の位置を、↑または↓キーで垂直方向の位置を設定します。

アスペクト

画面のアスペクト(縦横比)を選びます。

DVD機器などから16:9(スクイーズ)信号を入力する場合、「16:9」に設定してください。

4:3: 4:3の映像を入力しているときに選びます。

16:9: 16:9(スクイーズ)の映像を入力しているときに選びます。

スキャンコンバーター

入力信号をスキャンコンバートして画面いっぱいに画像を表示します。

オン:画像を画面の大きさに合わせて表示します。画像は少しぼやけた感じになります。

オフ:入力画素数をLCDの1ピクセルに合わせて表示します。画像が鮮明になります。この場合、画面に表示される画像は小さくなります。

ご注意

XGA、SXGA 信号を入力した場合、この項目は表示されません。

入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号				
	ビデオまたはSビデオ	15k RGB/コンポーネント	ハイビジョン	RGB ¹⁾	白黒信号
ドットフェーズ	×	×			×
サイズ	×	×			×
シフト					
アスペクト			×	×	
スキャンコンバーター	×	×	×	(SVGA以下のみ)	×

:調整・設定できる項目 ×:調整・設定できない項目

プリセットメモリーナンバーについて

本機には、あらかじめ44種類の映像データがプリセットされています(プリセットメモリー)。プリセットされた信号の入力時は、現在投影中の映像データのメモリーナンバーと信号種類が表示されます。本機は入力信号を自動的に判別し、その信号がプリセットメモリーに登録してある場合は、このメモリー内のデータを読み出し、最適な画面を表示します。また、この呼び出されたデータは信号設定メニューで調整することもできます。

また、プリセットデータとは別に、入力A/Bそれぞれに20個のユーザーメモリーがあります。プリセットされた信号以外の信号が入力され、初めての場合は、メモリーナンバー0と表示され、信号設定メニューで設定を変更した場合は登録されますが、それぞれの入力で登録数が20個を越えると、古いデータから順番に上書きされます。

プリセット信号一覧

メモリーナンバー	プリセット信号	fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ H
1	ビデオ 60 Hz	15.734	59.940	H-負 V-負	
2	ビデオ 50 Hz	15.625	50.000	H-負 V-負	
3	15k RGB/コンポーネント 60 Hz	15.734	59.940	S on G/Y	
4	15k RGB/コンポーネント 50 Hz	15.625	50.000	または	
5	HDTV	33.750	60.000	コンポジット	
6	640 x 350 VGA モード1	31.469	70.086	H-正 V-負	800
7	VGA VESA ²⁾ 85Hz	37.861	85.080	H-正 V-負	832
8	640 x 400 PC-9801 ノーマル	24.823	56.416	H-負 V-負	848
9	VGA モード2	31.469	70.086	H-負 V-正	800
10	VGA VESA 85Hz	37.861	85.080	H-負 V-正	832
11	640 x 480 VGA モード3	31.469	59.940	H-負 V-負	800
12	Macintosh 13"	35.000	66.667	H-負 V-負	864
13	VGA VESA 72Hz	37.861	72.809	H-負 V-負	832
14	VGA VESA 75Hz	37.500	75.000	H-負 V-負	840
15	VGA VESA 85Hz	43.269	85.008	H-負 V-負	832
16	800 x 600 SVGA VESA 56Hz	35.156	56.250	H-正 V-正	1024
17	SVGA VESA 60Hz	37.879	60.317	H-正 V-正	1056
18	SVGA VESA 72Hz	48.077	72.188	H-正 V-正	1040
19	SVGA VESA 75Hz	46.875	75.000	H-正 V-正	1056
20	SVGA VESA 85Hz	53.674	85.061	H-正 V-正	1048
21	832 x 624 Macintosh 16"	49.724	74.550	H-負 V-負	1152
22	1024 x 768 XGA VESA 43Hz	35.524	43.479	H-正 V-正	1264
23	XGA VESA 60Hz	48.363	60.004	H-負 V-負	1344
24	XGA VESA 70Hz	56.476	69.955	H-負 V-負	1328
25	XGA VESA 75Hz	60.023	75.029	H-正 V-正	1312
26	XGA VESA 85Hz	68.677	84.997	H-正 V-正	1376
27	1152 x 864 SXGA VESA 70Hz	63.995	70.016	H-正 V-正	1472
28	SXGA VESA 75Hz	67.500	75.000	H-正 V-正	1600
29	SXGA VESA 85Hz	77.487	85.057	H-正 V-正	1568
30	1152 x 900 Sunmicro LO	61.795	65.960	H-負 V-負	1504
31	Sunmicro HI	71.713	76.047	コンポジット	1472
32	1280 x 960 SXGA VESA 60Hz	60.000	60.000	H-正 V-正	1800
33	SXGA VESA 75Hz	75.000	75.000	H-正 V-正	1728
34	1280 x 1024 SXGA VESA 43Hz	46.433	43.436	H-正 V-正	1696
35	SGI-5	53.316	50.062	S on G	1680
36	SXGA VESA 60Hz	63.974	60.013	H-正 V-正	1696
37	SXGA VESA 75Hz	79.976	75.025	H-正 V-正	1688
38	SXGA VESA 85Hz	91.146	85.024	H-正 V-正	1728

43	Pコンポーネント 480/60P	480/60P(倍速NTSC)	31.470	60.000	同期付G	
44	575/50P	575/50P(倍速PAL)	31.250	50.000	同期付G	
45	1080/50I	1080/50I	28.130	50.000		
46	1080&1152/60	1080/50I-2	31.250	50.000		
47	720/60P	720/60P	45.000	60.000		
48	720/50P	720/50P	37.500	50.000		

1)コンピューターのRGB 信号

2)VESAはVideo Electronics Standard Associationの登録商標です。

下記の信号に対しては、プリセットメモリーからデータを呼び出すため、「サイズH」を変更してください。

「サイズH」を調整したあと、「シフト」で微調整してください。

信号	メモリーナンバー	サイズH
Super Mac-2	23	1312
SGL-1	23	1320
Macintosh 19"	25	1328
Macintosh 21"	28	1456
Sony News	36	1708
PC9821 1280 x 1024	36	1600
WS Sunmicro	37	1664

ご注意

アスペクト(縦横比)が4:3以外の場合、画面の一部が黒で表示されます。

初期設定メニュー

初期設定を変更するメニューです。



操作方法

1. 項目を選ぶ

↑または↓キーで設定項目を選び、→またはENTERキーを押す。

2. 項目を調整する

↑または↓キーを押して設定を選び、←またはENTERキーを押す。

元の画面に戻ります。

画面表示

画面表示の設定をします。

オン:画面表示をすべて表示します。

オフ:メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出ないようにします。
警告メッセージについては、36 (JP)ページをご覧ください。

入力A

5BNC端子に入力される信号をコンピューターとコンポーネント、DTV YPBPr、DTV GBRから選びます。

ご注意

「入力A」の設定を正しく行わないと色がおかしくなったり、「入力Aの設定を確認してください。」というメッセージが出て映像が出ないことがあります。

オート入力サーチ

「オン」に設定した場合、電源投入時またはINPUTキーが押されたときに、入力A / 入力B / ビデオ / Sビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示します。

表示言語

メニュー画面表示の言語を変えることができます。

「ENGLISH」(英語)、「FRANCAIS」(フランス語)、「DEUTSCH」(ドイツ語)、「ITALIANO」(イタリア語)、「ESPANOL」(スペイン語)、「日本語」、「中文」(中国語)から選ぶことができます。

スピーカー

外部スピーカーなどを接続して、本体のスピーカーから音を出したくないとき「オフ」に設定します。「オフ」にすると、電源を入れたとき「スピーカーオフ」というメッセージが画面に表示されません。

パワーセービング

「オン」に設定した場合、本体に信号が入力されない状態が10分以上続くとパワーセービングになります。

SIRCS受光部

本体前面と後面のリモコン受光部(SIRCS受光部)の設定をします。

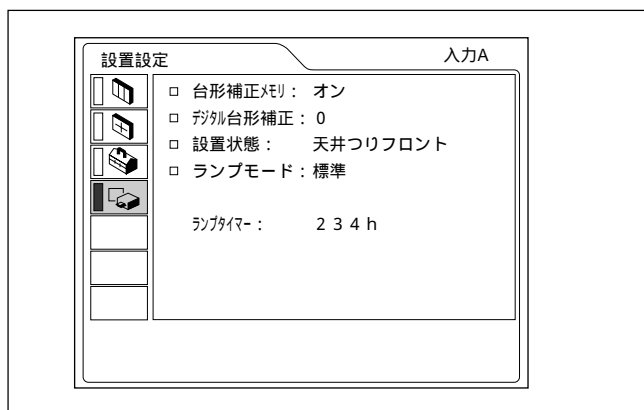
前 & 後: 前面と後面のリモコン受光部を両方動かせるとき。

前: 前面のリモコン受光部だけを動かせるとき。

後: 後面のリモコン受光部だけを動かせるとき。

設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。



操作方法

1. 項目を選ぶ

↑または↓キーで設定項目を選び、→またはENTERキーを押す。

2. 項目を調整する

・数値を変更する項目の場合:

数値を大きくするときは、↑または→キーを押す。

数値を小さくするときは、↓または←キーを押す。

ENTERキーを押すと元の画面に戻ります。

・設定を選ぶ場合:

↑または↓キーを押して設定を選び、←またはENTERキーを押す。

元の画面に戻ります。

台形補正メモリ

オン: 「デジタル台形補正」の項目で調整された情報を記憶します。記憶後は、補正情報が自動的に呼び出され、毎回同じ条件での投影ができるようになります。

オフ: 次に電源を入れた時に「デジタル台形補正」の値は0にリセットされます。

デジタル台形補正

投影角度によって画像が台形になってしまった場合にこれを補正します。

画像の上の辺を基準にして、下の辺の方が短いときはプラス方向に、長いときはマイナス方向に数値を設定して、画像が四角形になるように調整します。

設置状態

画像を水平または垂直方向に反転します。

床置きフロント: 画像は反転しません。

天井つりフロント: 画像を水平、垂直方向に反転します。

床置きリア: 画像を水平方向に反転します。

天井つりリア: 画像を垂直方向に反転します。

ご注意

鏡などを用いる場合は、画像が反転することがありますので、設置の際はご注意ください。

ランプモード

投影時のランプの明るさを設定します。

標準: 通常の明るさで照射します。

低: 投影時の音が静かになり、消費電力を軽減します。

「低」に設定すると、画面は「標準」に設定した場合より暗くなります。

「低」に設定してある場合、次に電源を入れると最初の1分間は「標準」でスタートし、その後「低」になります。

ランプタイマー

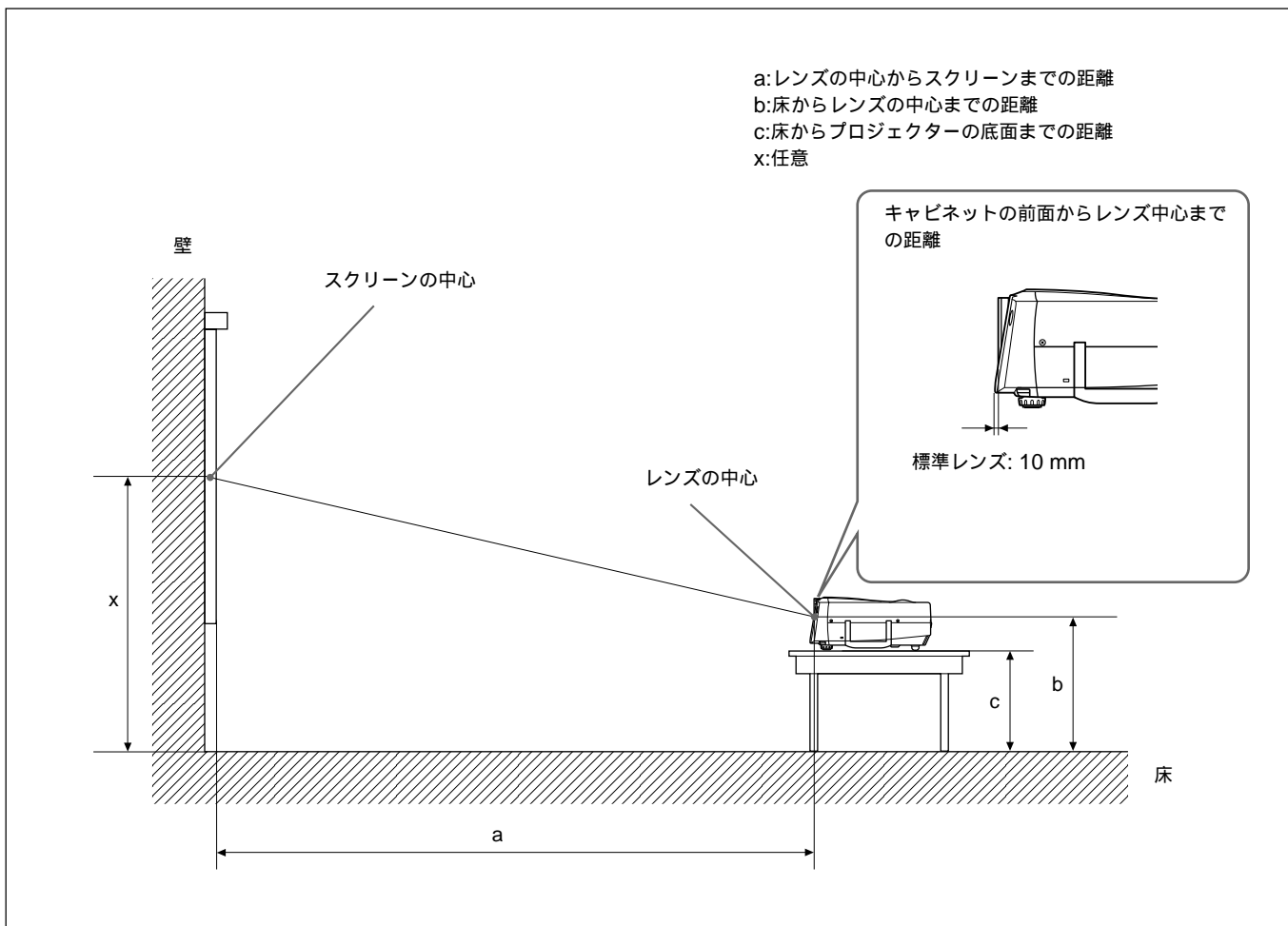
ランプの使用時間を累積して表示します。

ご注意

この項目は、表示のみです。変更はできません。

設置例

床置き



単位: mm

スクリーンサイズ (インチ)		40	60	80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	1490	2280	3060	3850	4630	5810	6990	7770	9740	11700
	最大	1820	2780	3740	4700	5660	7100	8540	9500	11900	14300
b		x-305	x-457	x-610	x-762	x-914	x-1143	x-1372	x-1524	x-1905	x-2286
c		x-394	x-546	x-699	x-851	x-1003	x-1232	x-1461	x-1613	x-1994	x-2375

設置寸法の計算方法 (単位: mm)

SS: スクリーンサイズ対角(インチ)

$$a_{\text{最小値}} = \{(SS \times 50.18 / 1.3102) - 75.10104\} \times 1.025$$

$$a_{\text{最大値}} = \{(SS \times 64.518746 / 1.3102) - 107.8977\} \times 0.975$$

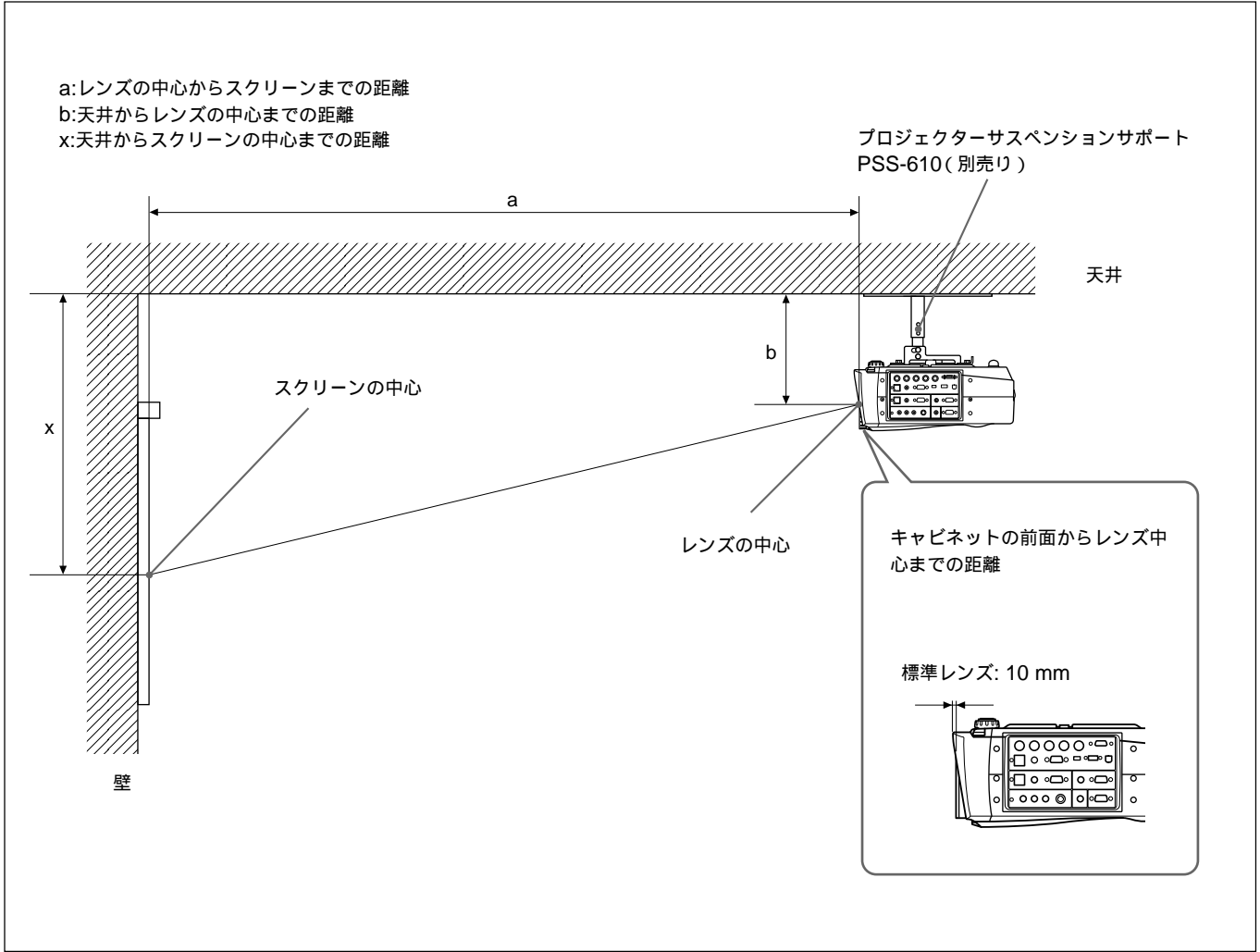
$$b_{\text{値}} = x - (SS / 1.3102 \times 9.984)$$

$$c_{\text{値}} = x - (SS / 1.3102 \times 9.984 + 89)$$

天井つり

天井つりの場合は、プロジェクターサスペンションサポートPSS-610
をご使用ください。

天井つりの設置は、代理店またはソニーサービスにおまかせくださ
い。



単位: mm

スクリーンサイズ (インチ)		80	100	120	150	180	200	250	300
a	最小	3060	3850	4630	5810	6990	7770	9740	11700
	最大	3740	4700	5660	7100	8540	9500	11900	14300
x		b+610	b+762	b+914	b+1143	b+1372	b+1524	b+1905	b+2286
b		PSS-610使用時、231/256/281/331/356/381 mm で調整可能							

設置寸法の計算方法 (単位: mm)

SS: スクリーンサイズ対角 (インチ)

$$a_{\text{最小値}} = \{ (SS \times 50.18 / 1.3102) - 75.10104 \} \times 1.025$$

$$a_{\text{最大値}} = \{ (SS \times 64.518746 / 1.3102) - 107.8977 \} \times 0.975$$

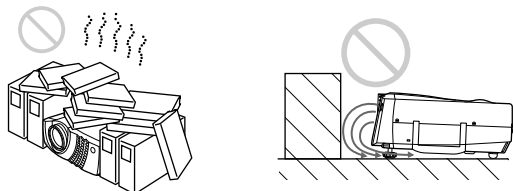
$$x_{\text{値}} = b + (SS / 1.3102 \times 9.984)$$

設置時のご注意

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

風通しが悪い場所

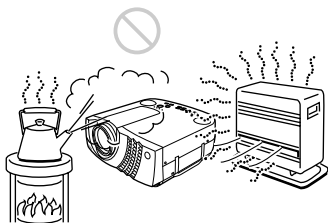


・底面の吸気口および前面の排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。

吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1分後にLAMPオフします。」という警告メッセージが表示され、1分後に自動的に電源が切れます。

- ・本機の周囲から30 cm以内には物を置かないようにしてください。
- ・吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。
- ・本機前面の排気口の前に物を置くと、排気が本体底面の吸気口に回りこみ、内部の温度が上昇して保護回路が動作することがあります。このような場合には、排気をさえぎらないように注意して本機を設置してください。

温度や湿度が高い場所



温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

ほこりが多い場所

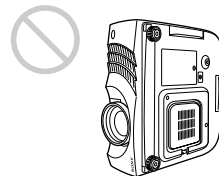


ほこりの多い場所での使用は避けてください。ちりやほこりの多い場所で使用すると、エアフィルターがつまりやすくなります。また、エアフィルターの汚れは、内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

使用に適さない状態

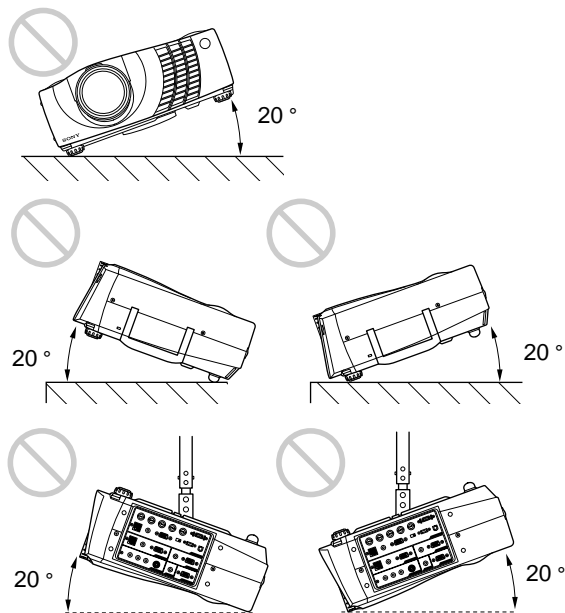
次のような状態では使用しないでください。

本機を横倒しにする



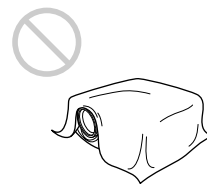
プロジェクターを横倒しにしてお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を前後左右に傾ける



プロジェクターを20度以上傾けたり、床置きおよび天井つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

排気口を覆う



前面の排気口をふさぐような覆いやカバーを使用しないでください。前面の排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

メンテナンス

⚠ 注意

- ・ランプが破損している場合は、最寄りのソニーサービスステーションまたはお買い上げのソニー特约店にご相談ください。
- ・ランプを取り出す時は、必ず取り出し用ハンドルを持って引き出してください。他の部分をもって引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
- ・ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損した場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

ランプを交換する

光源のランプが寿命になったら、新しいランプと交換してください。ランプの寿命はランプモード標準時で約1500時間、低時で約3000時間です。交換時期になると「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されます。

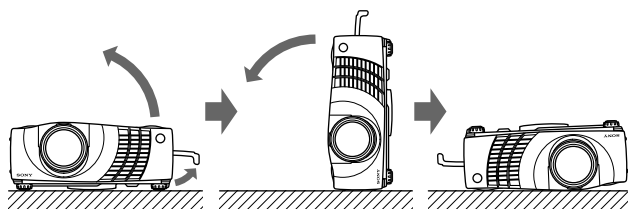
交換ランプは、別売りのプロジェクターランプLMP-P201をお使いください。

プロジェクターを使用した後にランプを交換する場合はプロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。ランプを冷やすため、1時間以上たってからランプを交換してください。

⚠ 警告

1/⏻キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプを十分に冷やすため、ランプ交換は、プロジェクターの電源を切ってから1時間以上してから行ってください。

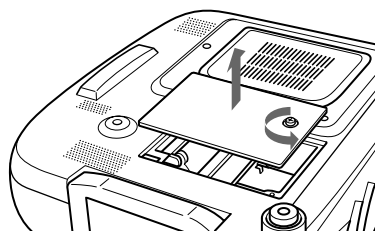
- 1 プロジェクターや机に傷がつかないように布などを敷き、ハンドルを持って図のようにプロジェクターをコントロールパネル側へ裏返しにする。



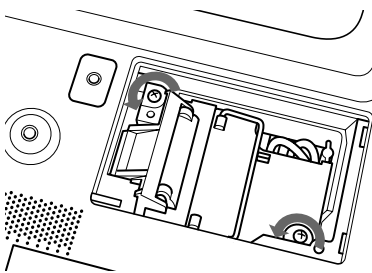
⚠ 注意

ランプ交換は水平で安定した場所で行ってください。

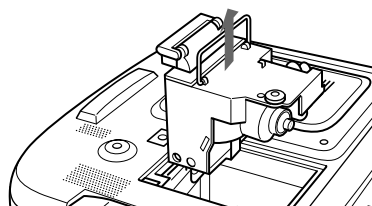
- 2 ランプカバーのネジ(1本)をプラスドライバー(プロジェクターランプに付属)でゆるめ、ランプカバーを外す。



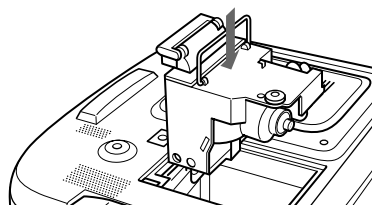
- 3 ランプのネジ(2本)をプラスドライバーでゆるめる。



- 4 取り出し用ハンドルを持ってランプを水平にし、まっすぐ上に引き出す。



- 5 新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジを締め、取り出し用ハンドルを元に戻す。



⚠ 注意

- ・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
- ・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

- 6 ランプカバーを閉め、ネジを締める。

- 7 プロジェクターの向きを元にもどす。

(続く)

- 8 電源コードを接続し、プロジェクターをスタンバイ状態にする。
- 9 コントロールパネルのキーをRESETキー、←キー、→キー、ENTERキーの順に、それぞれ5秒以内に押す。

警告

- ・ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

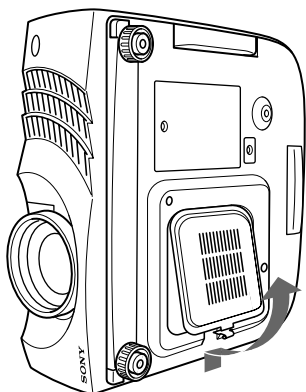
ご注意

- ・新しいランプは、必ず交換用ランプ LMP-P201をお使いください。それ以外のものをお使いになると、故障の原因になります。
- ・ランプを交換する前に必ずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

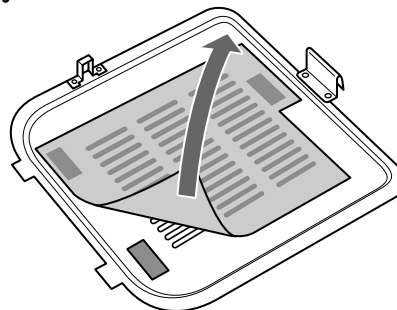
エアフィルターが汚れてきたら

約300時間ごとにエアフィルターのクリーニングが必要です。フィルターのほこりが取れにくくなったときは、新しいフィルターと交換してください。

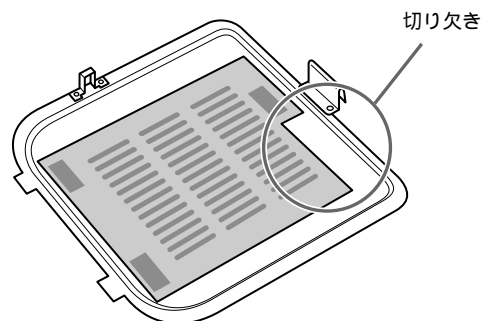
- 1 電源を切り、電源コードを抜く。
- 2 プロジェクター底面のエアフィルターカバーを、エアフィルターカバーボタンを押しながら持ち上げてはずす。



- 3 マジックテープ(3箇所)で止まっているエアフィルターをはがす。



- 4 掃除機でエアフィルターを掃除する。
- 5 エアフィルターを図のように貼り付け、エアフィルターカバーをプロジェクターに取り付ける。



ご注意

- ・エアフィルターは、マジックテープにのせただけでは貼り付きません。マジックテープのある3か所を、エアフィルターの上から指で強く押し付けてください。その際、エアフィルターが折れ曲がらないよう注意してください。
- ・エアフィルターは、エアフィルターカバーに対してまっすぐに固定してください。まっすぐでないと、フィルターの機能が低下します。
- ・エアフィルターの汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液で洗ったあと日陰で乾かしてください。それでも汚れが落ちないときは、付属の交換用エアフィルターと交換してください。
- ・エアフィルターには表裏があります。プロジェクター内部に埃が入らないようにするため、フィルターの切り欠きのある部分を上図で示したとおりカバーに貼り付けてください。
- ・エアフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

トラブル時の対処

操作中にトラブルが生じた場合に、ヘルプを表示して対処の方法を見つけることができます。

ヘルプを表示するにはHELPキーを押してください。

ヘルプでは以下の項目について表示することができます。

- ・映像に関する項目 - 表示されない、色がおかしいなど
- ・音声に関する項目 - 音がうまく出ないなど
- ・その他の項目 - インジケーターが点灯 / 点滅するなど

ヘルプを読んでも直らない場合は、もう一度次の点検をしてください。それでも直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因	対処
電源が入らない。	I / ⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。	約120秒たってから電源を入れてください。 (21 (JP) ページ)
	ランプカバーがはずれている。	ランプカバーをしっかりとはめてください。(33 (JP) ページ)
	エアフィルターカバーがはずれている。	エアフィルターカバーをしっかりとはめてください。 (34 (JP) ページ)

映像に関する項目

症状	原因	対処
映像が映らない。	ケーブルがはずれている、または正しく接続されていない。	接続を確認してください。(17 (JP) ~ 20 (JP) ページ)
	入力切り換えが正しくない。	INPUT キーで正しく選んでください。(22 (JP) ページ)
	映像がミュートされている。	PIC MUTING キーを押して、ミュートを解除してください。(22 (JP) ページ)
	出力信号をコンピューターの外部モニターから出力するように設定していない。	出力信号をコンピューターの外部モニターから出力するように設定してください。(17 (JP) ページ)
	出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方から出力するように設定している。	出力信号を外部モニターだけに出力するように設定してください。(17 (JP) ページ)
画面にノイズが出る。	入力信号のドット数とLCDの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることもある。	お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。
画面表示が出ない。	画面表示の設定が「オフ」になっている。	画面表示の設定を「オン」にしてください。(28 (JP) ページ)

音声に関する項目

症状	原因	対処
音が出ない。	ケーブルがはずれている、または正しく接続されていない。	接続を確認してください。(17 (JP) ~ 20 (JP) ページ)
	音声がミュートされている。	AUDIO MUTING キーを押して、ミュートを解除してください。(22 (JP) ページ)
AUDIO 端子から音声を入力しているとき、片側からしか音が出ない。	AUDIO 端子にモノラル音声が入力されている。	ステレオ音声を入力してください。

その他に関する項目

症状	原因	対処
LAMP/COVER インジケータが点滅する。	ランプカバーまたはエアフィルターカバーがはずれている。	カバーをしっかりとめてください。(33 (JP)、34 (JP) ページ)
LAMP/COVER インジケータが点灯する。	ランプの寿命がきた。	ランプを交換してください。(33 (JP) ページ)
	ランプが高温になっている。	120 秒以上たって、ランプが冷えてから、もう1度電源を入れてください。(21 (JP) ページ)
TEMP/FAN インジケータが点滅する。	ファンが故障している。	お買い上げ店にご相談ください。
TEMP/FAN インジケータが点灯する。	内部が高温になっている。	排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。
LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケータが2つとも点灯する。	電気系統が故障している。	お買い上げ店にご相談ください。

警告メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味	対処
セット内部温度が高いです。 1 分後に LAMP オフします。	内部の温度が高くなった。	電源を切ってください。 排気口、吸気口をふさいでいないかどうか確認してください。
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	対応範囲を越えた周波数の信号が入力された。	対応範囲内の信号を入力してください。
	接続するコンピューターの外部モニターの出力信号の設定が高い。	出力信号の設定を XGA にしてください。(17 (JP) ページ)
入力 A の設定を確認してください。	初期設定メニューの「入力 A」が「コンポーネント」または「DTV YPbPr」に設定されているのに、コンピューターからの RGB 信号を入力した。	「入力 A」を正しく設定してください。(28 (JP) ページ)
ランプを交換してください。	ランプの交換時期が来た。	ランプを交換してください。

注意メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味	対処
入力信号がありません	本体に何も入力されていない。	接続を確認してください。(17 (JP) ~ 20 (JP) ページ)
無効キーが押されました！	操作が正しくない。	正しいキーを押してください。
スピーカーオフ	初期設定メニューの「スピーカー」が「オフ」になっている。	必要に応じて「オン」に設定してください。(28 (JP) ページ)

本機の性能を保持するために

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- ・集光形のダウンライトにする。
- ・蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- ・太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- ・光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

- ・キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- ・必ず定期的にフィルターのクリーニングをしてください（約300時間ごと）。

結露について

プロジェクターの設置してある室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因となりますので冷暖房にご注意ください。結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置しておいてください。

電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

	アメリカ合衆国、カナダ		ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	290B	YP-12A	COX-07	— ¹⁾	YP332
コネクタ型名	VM0089	386A	YC-13B	COX-02	VM0310B	YC-13
コード型名	SJT	SJT	H05VV-F	H05VV-F	N13237/CO-228	VCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/250V	7A/125V
安全規格	UL/CSA	UL/CSA	VDE	VDE	VDE	電安

1) プラグに関しては各国規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店にご相談ください。
保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

仕様

光学系

投影方式	3LCD パネル、1 レンズ、3 原色光シャッター方式
LCD パネル	VPL-PX21: 1.3 インチ TFT SONY LCD パネル VPL-PX31: 1.3 インチマイクロレンズアレイつき TFT SONY LCD パネル 2,359,296 画素 (1024 × 768 × 3)
レンズ	約1.3倍ズームレンズ(マニュアル) f 50.8 ~ 64.0 mm/F 1.7 ~ 2.0
ランプ	200 W UHP
投影画面サイズ	40 インチ ~ 300 インチ
光出力	VPL-PX21: 1800 ANSI ¹⁾ lm VPL-PX31: 2800 ANSI ¹⁾ lm

投影距離(床置き)

スクリーンサイズ (インチ)	距離 (mm)
40	1490 ~ 1820
60	2280 ~ 2780
80	3060 ~ 3740
100	3850 ~ 4700
120	4630 ~ 5660
150	5810 ~ 7100
180	6990 ~ 8540
200	7770 ~ 9500
250	9740 ~ 11900
300	11700 ~ 14300

電気系

カラー方式	NTSC ^{3.58} 、PAL、SECAM、NTSC ^{4.43} 、PAL-M、PAL-N 自動切り換え / 手動切り換え
解像度	水平解像度 750TV 本(ビデオ入力時) 1024 × 768ドット(RGB入力時)
対応コンピューター信号	fH: 15 ~ 91 kHz、fV: 43 ~ 85 Hz
スピーカー	広帯域3スピーカーシステム ウーファー: 直径 65mm、最大3W ツイーター: 直径45mm、最大1W × 2 (ステレオ)

入 / 出力

ビデオ / オーディオ

VIDEO: ピンジャック	コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負 (75 終端)
S VIDEO: Y/C、ミニ DIN4ピン(オス)	Y(輝度)信号: 1 Vp-p ± 2 dB 同期負 (75 終端) C(クロマ)信号: パースト0.286 Vp-p ± 2 dB (NTSC) (75 終端) パースト0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL) (75 終端)
AUDIO: ピンジャック × 2	500 mVrms、インピーダンス47 k Ω 以上
INPUT A	HD D-sub 15ピン(メス) / 5BNC(メス) / デジタルインターフェイス切り換え アナログRGB: HD D-sub 15ピン(メス) R: 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) G: 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) 同期付G: 1 Vp-p ± 2 dB 同期負 (75 終端) B: 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) SYNC/HD: 複合同期入力: 1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性 水平同期入力: 1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性 VD: 垂直同期入力: 1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性 アナログRGB/ コンポーネント: 5BNC (メス) R/R-Y: 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) G: 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) 同期付G/Y: 1 Vp-p ± 2 dB 同期負 (75 終端) B/B-Y: 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) SYNC/HD: 複合同期入力: 1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性

1) ANSI 基準ルーメンは、American National Standard IT7.228 に定められた測定方法によります。

	水平同期入力: 1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性 VD : 垂直同期入力: 1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性
	デジタル RGB : DFP20 ピン (TMDs) USB ハブ : アップ (Bタイプ: メス) × 1、 ダウン (Aタイプ: メス) × 1 MOUSE (出力) 角形 13 ピン (メス) (「 ピン配列 」参照) AUDIO : ステレオミニジャック 500 mVrms、 インピーダンス 47 k 以上
INPUT B	アナログ RGB : HD D-sub 15 ピン (メス) R : 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) G : 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) 同期付 G : 1 Vp-p ± 2 dB 同期負 (75 終端) B : 0.7 Vp-p ± 2 dB (75 終端) SYNC/HD : 複合同期入力 : 1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性 水平同期入力: 1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性 VD : 垂直同期入力: 1 ~ 5 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性 MOUSE (出力) 角形 13 ピン (メス) (「 ピン配列 」参照) AUDIO : ステレオミニジャック 500 mVrms、 インピーダンス 47 k 以上
OUTPUT	MONITOR OUT : HD D-sub 15 ピン (メス) R/R-Y、G/Y、B/B-Y : Gain Unity、 75 SYNC/HD、VD : 4 Vp-p (オープン) 1 Vp-p (75) (デジタル RGB からの入力信号は、 MONITOR OUT からは出力されませ ん) AUDIO OUT (出力可変) : ステレオミニジャック 1 Vrms (音量最 大) 500 mVrms 出力時 インピーダン ス 5 k 以下
REMOTE	RS-232C : D-sub 9 ピン (メス)
CONTROL S IN/PLUG IN POWER	ステレオミニジャック 5 Vp-p、 プラグインパ ワー 、DC5V

安全規格 電安法、VCCIクラスB

本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

レーザー

レーザー種類	クラス2
波長	645 nm
出力	1 mW

一般

最大外形寸法	339 × 142 × 335 mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約 7.2 kg
電源	AC100 ~ 240 V、50/60 Hz
消費電力	最大 290 W (スタンバイモード時: 5 W)
発熱量	989.6 BTU
動作温度	0 ~ + 40
動作湿度	35 % ~ 85 % (結露しないこと)
保存温度	- 20 ~ + 60
保存湿度	10 % ~ 90 %
付属品	リモートコマンダー RM-PJM610 (1) 単 3 形乾電池 (2) HD D-sub 15 ピンケーブル (2 m) (1) (1-791-992-11 または 1-791-992-21) マウスケーブル SIC-S21 (シリアルポート用) (2 m) (1) (1-783-502-11) SIC-S22 (PS/2用) (2 m) (1) (1-783-501-11) オーディオ / ビデオ接続ケーブル (1.5 m) (1) (1-776-279-11) USBケーブル Aタイプ-Bタイプ (2 m) (1) (1-790-081-11) アプリケーションソフトウェア 「プロジェク ターステーションバージョン 2.00」(1) レンズキャップ (1) リモートコマンダー用ストラップ (1) 電源コード (1) 交換用エアフィルター (1) 取扱説明書 (1) 特約店様用設置説明書 (1) 早わかりカード (1) 保証書 (1)

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

別売りアクセサリ

プロジェクターランプ LMP-P201 (交換用)

プロジェクターサスペンションサポート PSS-610

キャリングケース VLC-600

モニターケーブル

SMF-400 (HD D-sub 15ピン(オス) ↔ 5×BNC(オス))

SMF-410 (HD D-sub 15ピン(オス) ↔ HD D-sub 15ピン(オス))

シグナルケーブル

SMF-402 (HD D-sub 15ピン(オス) ↔ 3×ピンジャック(オス))

シグナルインターフェイスケーブル

SIC-10 (5×BNC(オス) ↔ 5×BNC(オス))

デジタルシグナルケーブル

SMF-D102 (DFP20ピン ↔ DFP20ピン)

SMF-D110 (DFP20ピン ↔ DFP20ピン)

マウスケーブル

SIC-S20 (Macintosh用)(2 m)

SIC-S21 (シリアルポート用)(2 m)

SIC-S22 (PS/2用)(2 m)

SIC-S23 (NEC PC-98用)(2 m)

シグナルアダプター

ADP-20 (Macintosh ↔ HD D-sub 15ピン)

プロジェクションレンズ

長焦点ズームレンズ VPLL-ZM101

短焦点ズームレンズ VPLL-ZM31

短焦点固定レンズ VPLL-FM21

スクリーン

100インチフラットスクリーン VPS-100FH

120インチフラットスクリーン VPS-120FH

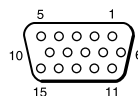
80インチ電動フラットスクリーン VPS-80FMJ

100インチ電動フラットスクリーン VPS-100FMJ

120インチ電動フラットスクリーン VPS-120FMJ

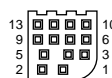
ピン配列

RGB入力端子 (HD D-sub 15ピン、メス)



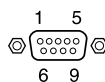
1	映像入力(赤)R	9	N.C
2	映像入力(緑)G	10	接地
3	映像入力(青)B	11	接地
4	N.C	12	DDC/SDA
5	接地	13	水平同期信号 / 複合同期信号
6	接地(赤用)	14	垂直同期信号
7	接地(緑用)	15	DDC/SCL
8	接地(青用)		

MOUSE端子 (角形13ピン、メス)



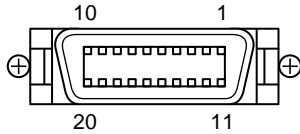
1	RTS	8	R
2	GND	9	98/AT/TXD
3	XA	10	+5V/DTR
4	XB	11	CLOCK
5	YA	12	DATA
6	YB	13	RXD
7	L/PS		

RS-232C端子 (D-sub 9ピン、メス)



1	DCD	6	DSR
2	RX DA	7	RTS
3	TX DA	8	CTS
4	DTR	9	RI
5	GND		

DIGITAL RGB入力端子 (DFP20ピン、メス)

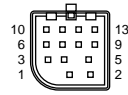


1	TX0 -	11	TXC -
2	TX0 +	12	TXC +
3	TX0 SHIELD	13	TXC SHIELD
4	TX2 SHIELD	14	TX1 SHIELD
5	TX2 -	15	TX1 -
6	TX2 +	16	TX1 +
7	DDC/SCL	17	NC
8	DDC/SDA	18	SENSE
9	NC	19	+ 5V DC
10	NC	20	GND

マウスケーブルピン配列

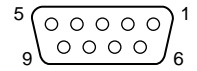
SIC-S21

角形13ピン



1	RTS	8	R
2	GND	9	98/AT/TXD
3	XA	10	+5V/DTR
4	XB	11	CLOCK
5	YA	12	DATA
6	YB	13	RXD
7	L/PS		

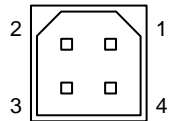
D-sub 9ピン



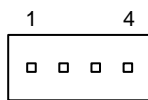
1	DCD
2	RXD
3	TXD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	RI

USB端子

Bプラグ(メス)



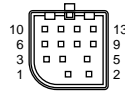
Aプラグ



1	+ 5V
2	D -
3	D +
4	GND

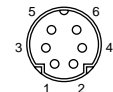
SIC-S22

角形13ピン



1	RTS	8	R
2	GND	9	98/AT/TXD
3	XA	10	+ 5V/DTR
4	XB	11	CLOCK
5	YA	12	DATA
6	YB	13	RXD
7	L/PS		

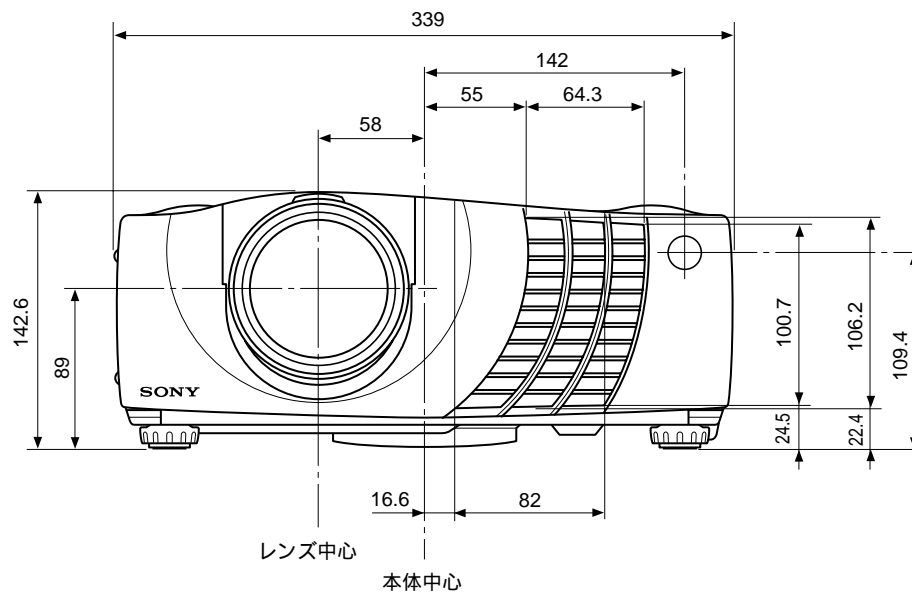
ミニDIN6ピン



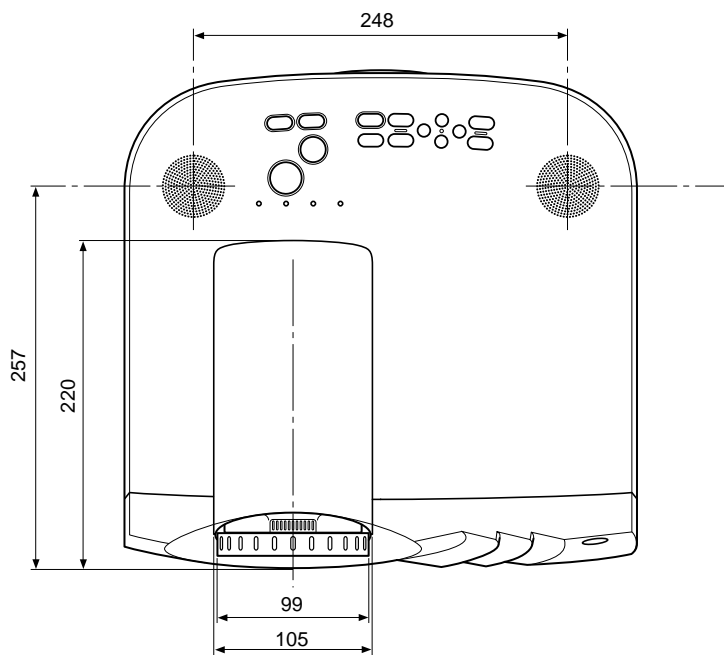
1	DATA
2	NC
3	GND
4	+ 5V
5	CLOCK
6	NC

寸法図

前面

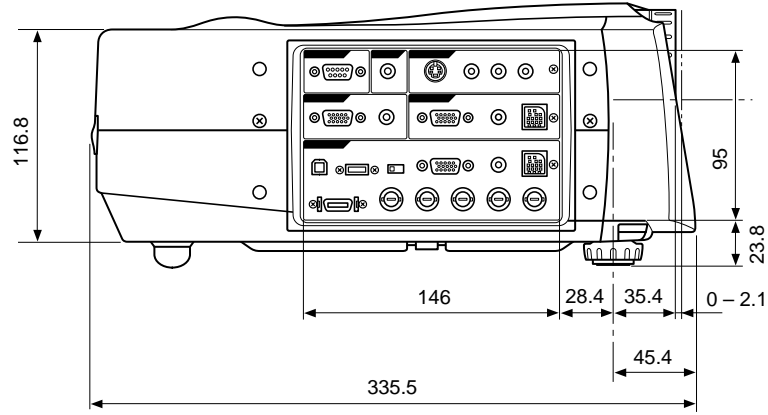


上面

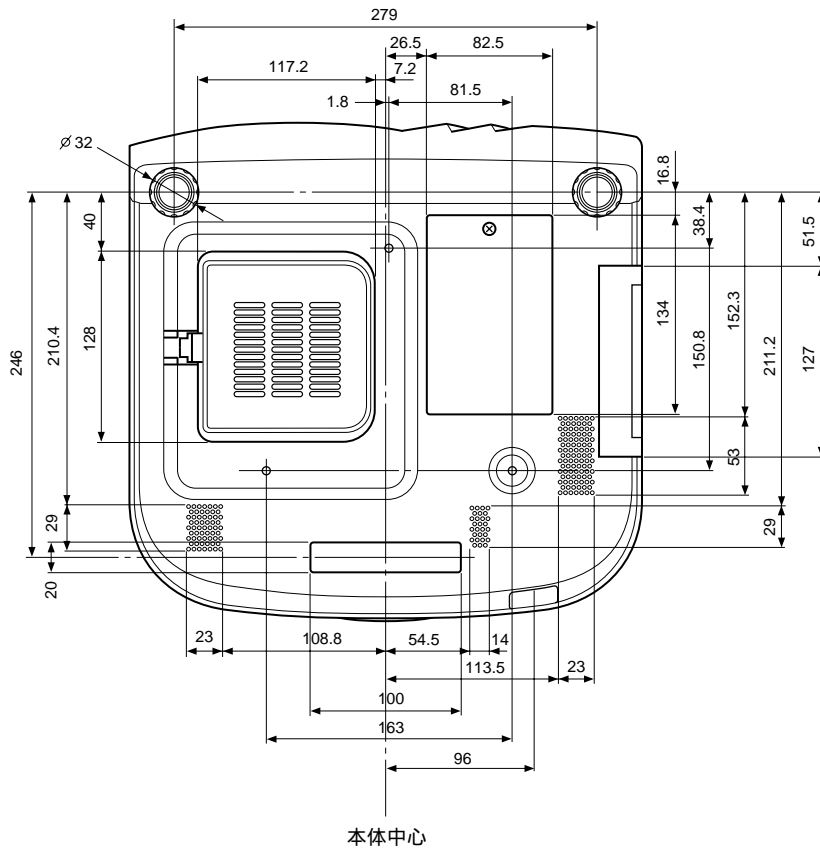


単位: mm

側面



底面



単位: mm

索引

あ行

アジャスター	11 (JP)
「アスペクト」	26 (JP)
「RGB シャープネス」	25 (JP)
RGB 入力端子	13 (JP)
ピン配列	40 (JP)
RS-232C 端子	14 (JP)
ピン配列	40 (JP)
「色あい」	25 (JP)
「色温度設定」	25 (JP)
「色の濃さ」	25 (JP)
エアフィルター	34 (JP)
映像だけ消す	22 (JP)
APA 機能	12 (JP), 22 (JP)
「オート入力サーチ」	28 (JP)
音だけ消す	22 (JP)

か行

各部の名称と働き	
後面 / 右側面 / 底面	10 (JP)
コネクターパネル	13 (JP)
コントロールパネル	12 (JP)
前面 / 左側面	10 (JP)
リモートコマンダー	15 (JP)
画質調整メニュー	24 (JP)
画像の大きさの調整	22 (JP)
画像を映す	21 (JP)
「画面表示」	28 (JP)
「カラー方式」	25 (JP)
「ガンマモード」	25 (JP)
キャリングハンドル	10 (JP)
結露	37 (JP)
「コントラスト」	25 (JP)

さ行

「サイズ H」	26 (JP)
「SIRCS 受光部」	10 (JP), 29 (JP)
「シフト」	26 (JP)
「シャープネス」	25 (JP)
仕様	38 (JP)
初期設定メニュー	28 (JP)
信号設定メニュー	26 (JP)
「スキャンコンバーター」	27 (JP)
スクリーンサイズ	16 (JP), 27 (JP), 30 (JP), 38 (JP)
「スピーカー」	28 (JP)
寸法図	42 (JP)

接続

コンピューターを接続する	17 (JP)
コンポーネント機器を接続する	20 (JP)
ビデオ機器を接続する	20 (JP)
設置時のご注意	32 (JP)
使用に適さない状態	32 (JP)
設置に適さない場所	32 (JP)
「設置状態」	29 (JP)
設置設定メニュー	29 (JP)
設置例	30 (JP)
天吊り	30 (JP)
床置き	31 (JP)

た行

「台形補正メモリ」	29 (JP)
「D (ダイナミック) ピクチャー」	25 (JP)
調整	
画質の調整	22 (JP), 24 (JP), 25 (JP)
画像のサイズ / シフト調整	26 (JP)
設定値の記憶	24 (JP)

通風孔

吸気口	11 (JP)
排気口	10 (JP)
「デジタル台形補正」	29 (JP)
DIGITAL RGB 入力端子	13 (JP)
ピン配列	41 (JP)
DIGITAL RGB/5BNC/ RGB 端子入力切り換えスイッチ	13 (JP)

電源

オフ	23 (JP)
オン	21 (JP)

電池

安全上のご注意	7 (JP)
入れかた	16 (JP)
「ドットフェーズ」	26 (JP)
トラブル時の対処	35 (JP)

な行

「入力A」	28 (JP)
-------	---------

は行

「パワーセービング」	12 (JP), 29 (JP)
「表示言語」	28 (JP)
ピン配列	40 (JP), 41 (JP)
5BNC 端子	13 (JP)
付属品	39 (JP)
「ブライトネス」	25 (JP)
プロジェクターサスペンションサポート	
PSS-610	31 (JP)
別売りアクセサリ	40 (JP)
保証書とアフターサービス	37 (JP)
本機の性能を保持するために	37 (JP)

ま、や行

マウスケーブル

接続	17 (JP) ~ 19 (JP)
ピン配列	41 (JP)
MOUSE 端子	13 (JP)
ピン配列	40 (JP)

メッセージ

警告メッセージ	36 (JP)
注意メッセージ	36 (JP)

メニュー

画質調整	24 (JP)
初期設定	28 (JP)
信号設定	26 (JP)
設置設定	29 (JP)
メニュー画面を消す	24 (JP)
メニューの操作方法	24 (JP)
USB 端子	13 (JP)
ピン配列	41 (JP)

ら行

「ランプタイマー」	29 (JP)
ランプの交換	33 (JP)
「ランプモード」	29 (JP)

リセット

設定値をリセットする	24 (JP)
リセットできる項目	24 (JP)

リモコン受光部

後面リモコン受光部	10 (JP)
前面リモコン受光部	10 (JP)
リモコン受光部の設定	29 (JP)

リモートコマンダー

各部の名称と働き	15 (JP)
D ZOOM キー	15 (JP), 23 (JP)
電池の入れかた	16 (JP)
FUNCTION キー	15 (JP)
HELP キー	16 (JP)
レーザーポインター機能	15 (JP), 23 (JP)

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

<http://www.sony.net/>

Printed on recycled paper

Printed in Japan